

Reprise

BricsCAD ネットワークライセンス ユーザーガイド

BricsCAD RepriseNW 2026

BricsCAD の Reprise 版ネットワークライセンスについてのユーザーガイドです。
ネットワーク Reprise ライセンス管理をする場合、必ずお読みください。

本ユーザーガイドには、下記についての説明が含まれております。

BricsCAD インストーラー (Bricsys)

ネットワーク管理 (Reprise)

クライアント作成ツール (Alfatech)

環境引継ぎツール (Alfatech)

プロファイル初期設定ツール (Alfatech)

クライアント用ライセンスモニタ (Alfatech)

※()内はプログラム・ツール提供



Reprise BricsCAD ネットワークライセンス用ユーザーガイドについて

Reprise BricsCAD ネットワーク ライセンス ユーザーガイド(以降 本書)は Reprise を使用した BricsCAD ネットワークライセンス管理を使用するための構成・インストール等について説明するものです。

本書に説明のある設定・インストールを始める前に、クライアント PC 及び社内ネットワーク環境などが正しく動作することを、あらかじめご確認ください。

本書の画面ダンプは一例です。実際の画面とは異なる場合もあります。

ご注意

本書の内容の全部または一部を無断で記載することを禁止します。

本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますのでご了承ください。

目次

I. 概要	1
1. Reprise License Manager について	2
1. Reprise License Manager (RLM)	2
2. Reprise ネットワークライセンスの管理について	2
2. 作業内容	3
1. ライセンスサーバー作業	3
2. クライアントインストーラ作成	3
3. クライアントインストール	3
II. ライセンスサーバー作業	4
1. ライセンスマネージャーの構築	5
1. Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール	5
2. アクティベート	10
3. グレード識別 ID の設定	13
4. ライセンスファイルの識別 ID について	14
5. Bricsys License Server Administration	15
6. Windows ファイアウォールの設定	19
7. オフライン(手動)アクティベートについて	19
III. クライアントインストーラ作成	25
1. クライアントインストーラ作成	26
1. 事前準備	26
2. クライアントインストーラの作成(標準)	26
3. クライアントインストーラの作成(カスタム)	31
2. プロファイル初期設定ファイル	39
1. プロファイル初期設定ファイルについて	39
2. プロファイル初期設定ファイルの作成	39
3. 設定ファイル	41
IV. クライアントインストール	43
1. BricsCAD のインストール	44

1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について	44
2. BricsCAD のインストールの実行	45
3. Communicator のインストールの実行	46

V. オプション	48
1. ライセンスモニタ (BricsCAD)	49
1. ライセンス情報の確認	49
2. ライセンスの借用と返却 (BricsCAD)	50
1. ライセンス借用	50
2. ライセンス返却	51

VI. 付録	53
1. ツール	54
1. ライセンスサーバー設定/グレード書き換えツール	54
2. Reprise オプション構文	56
1. オプションファイルキーワード	56
2. 製品ライセンスコード (フィーチャー名)	56
3. 識別	56
4. ライセンスの返却 (タイムアウト)	57
5. ライセンス使用の許可	57
6. グループの定義記述例	57
7. 最大使用ライセンス数の指定	57
8. ライセンス借用の制限と禁止	58
3. お問い合わせ	59
1. よくあるお問い合わせ-サイト	59

I. 概要

本書の概要を説明します。

1. Reprise License Manager について

BricsCAD ネットワークライセンスで使用する RepriseLicenseManager 構成について説明します。

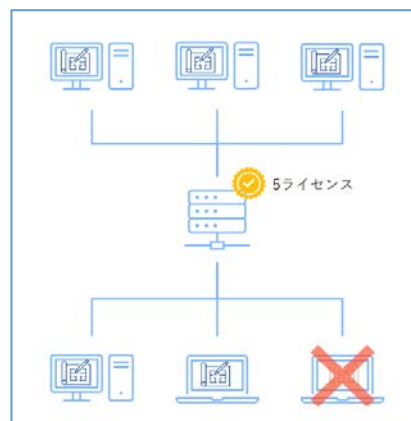
1. Reprise License Manager(RLM)

RepriseLicenseManager(RLM)では、同じ TCP/IP ネットワーク上のクライアントで 共有プールにアクセスしてライセンスを使用できます。

BricsCAD ネットワークライセンスは社内のサーバーにインストールした “Bricsys ネットワークライセンスマネージャー” を使用して、BricsCAD ライセンス用のプールの配布を制御します。

これによりライセンス数を抑えた運用を行うことができます。

ネットワークライセンスをご購入時は、BricsCAD メンテナンス保守契約が初回必須となります。



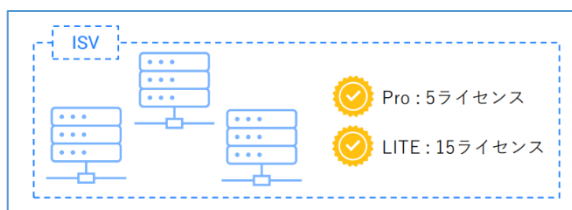
※BricsCAD ネットワークライセンスキーと図研アルファテック製品では、異なるプールを使用します。

そのため、各社(各ベンダー)用の RLM 構築が必要となりますのでご注意ください。

2. Reprise ネットワークライセンスの管理について

Reprise ネットワークライセンスの管理画面では以下のようことができます。

- 1 つのライセンスサーバーで複数のグレードやバージョンのライセンスを管理します。
- ライセンスマネージャーの管理画面から使用数や稼働状況の確認と設定を更新します。
- 最大30日間ネットワークから切り離して使用できるローミング(借用)を設定します。
- ライセンスを使用するユーザーをコントロールします。使用グレードやローミング(借用)の設定も可能です。
- 複数サーバーでライセンスを共有管理する構成が可能です。
- 利用ログの保存が可能です。(外部ツールでレポートデータを可視化できます。)



2. 作業内容

BricsCAD をネットワークライセンスでご使用いただくための作業について説明します。

1. ライセンスサーバー作業

Reprise ライセンスサーバーでの作業内容です。

- Bricsys ネットワークライセンスマネージャ (RLM) のインストール
- ネットワークライセンスのアクティベーション
- ライセンス識別 ID の付加
- Reprise License Server Administration log in ユーザーパスワード変更
- Reprise ライセンスサービス再起動
- Windows ファイアウォールの設定

※冗長構成でご使用の場合、Failover サーバーでアクティベート作業以外同様の作業を行います。

2. クライアントインストーラ作成

ライセンスサーバーでのアクティベートで作成されたライセンスファイル(*.lic)、および、BricsCAD、Communicator のインストーラ(msi ファイル)を使用し、クライアントインストーラを作成します。

クライアントインストーラはグレードごとに作成します。

購入したグレードに対するクライアントインストーラを作成してください。

クライアントインストーラは任意の 1 台の PC で作成し、他の PC から参照できる場所にコピーして利用します。

3. クライアントインストール

クライアントで使用する BricsCAD グレードのクライアントインストーラを使用してインストールを行います。

クライアントインストールでは BricsCAD、サーバー接続情報(Alfatech BricsCAD NW)、BricsCAD 用ライセンスモニタ(*)をインストールします。

(*)クライアントインストーラの作成時にライセンスモニタを含める/含めないの指定ができます。

BricsCAD 下位バージョンで FlexNet ライセンス管理を使用されていた場合は、FlexNet ライセンス管理はアンインストールされます。

Reprise 管理と FlexNet 管理の同時運用は推奨しておりません。

II.ライセンスサーバー作業

ライセンスサーバーでの作業として、Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール、ライセンスキーのアクティベーション、サービス起動確認などを説明しています。

Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンし作業を行ってください。

1. ライセンスマネージャーの構築

サーバーPC に対して、ライセンスマネージャーの構築作業を行います。
インストール作業を行う前に、使用中のアプリケーションはすべて終了させてください。

ライセンスを冗長構成とされる場合、事前に Failover 用のライセンスファイルを Bricsys サイトにログイン後、サポートリクエストから入手してください。

入手方法につきましては、弊社ホームページの下記項目をご参考ください。

https://www.bj-soft.jp/support/install/reprise_add_server.html

■フェイルオーバーライセンスの依頼方法

1. Bricsys ネットワークライセンスマネージャー(RLM)のインストール

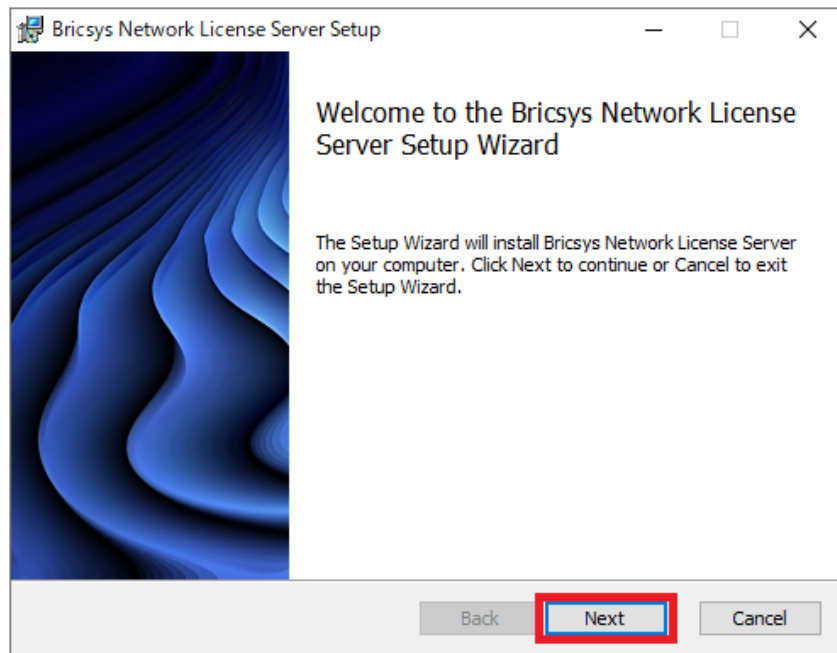
- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 2) 下記の URL をブラウザで開き、関係インストーラー式を含んだ **BricsCADNWRLM_1041.zip** をダウンロードしてください。

<https://www.bj-soft.jp/support/install/BricsCADreprise.html>

「BricsCADNWRLM_1041.zip」に Bricsys ネットワークライセンスマネージャーの Windows 版 (Bricsys-NetworkLicenseServer-V1.1.0-1.msi)が含まれています。

- 3) BricsCADNWRLM_1041.zip を任意の場所で展開してください。
- 4) BricsCADNWRLM_1041¥MISC¥ Bricsys-NetworkLicenseServer¥の中の Bricsys-NetworkLicenseServer-V1.1.0-1.msi をダブルクリックして起動します。
- 5) 「Bricsys Network License Manager Setup」 インストーラが起動します。

[Next] ボタンをクリックし、進みます。

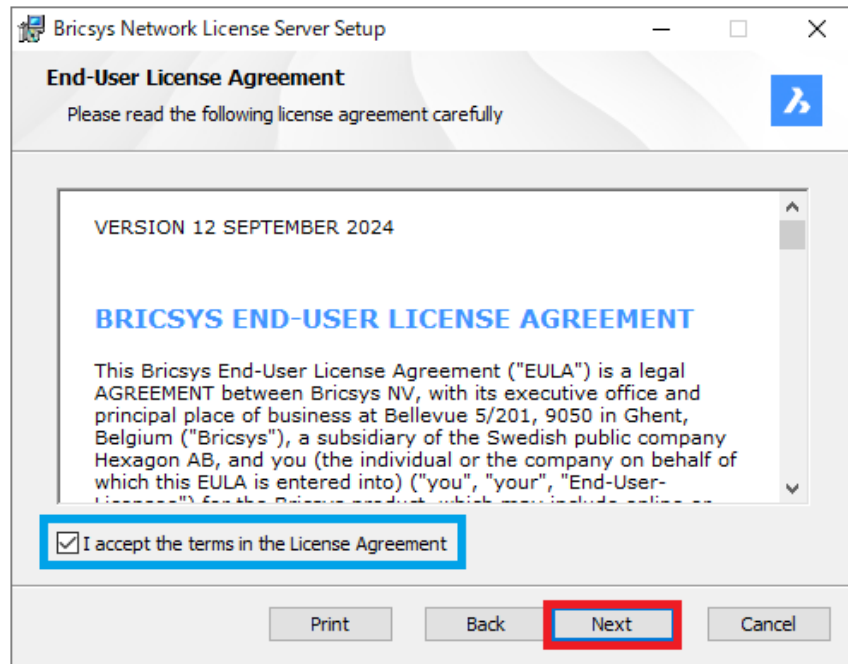
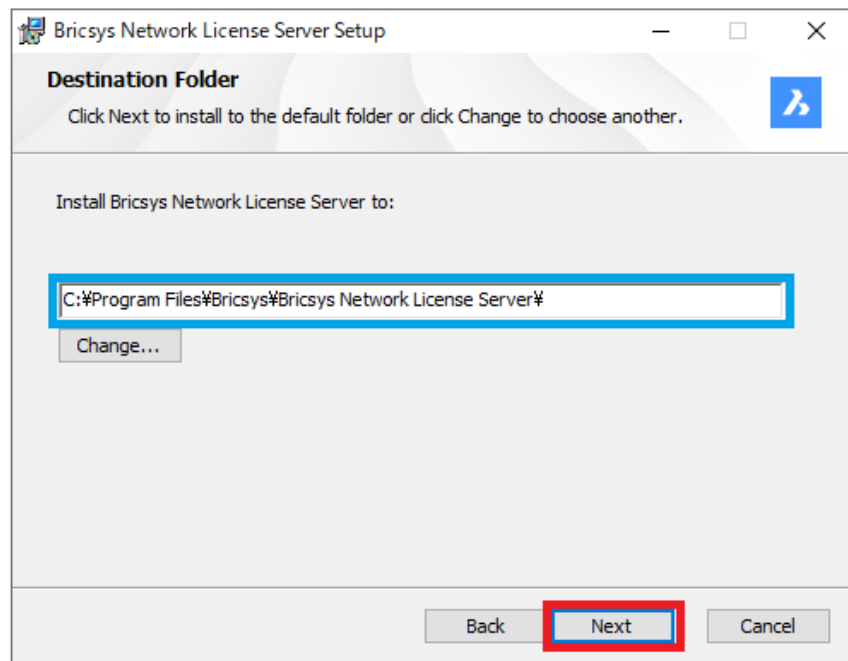


6) 使用許諾契約の確認

本ソフトをご使用いただくためには、ソフトウェア使用許諾契約のすべての条項に同意していただく必要があります。

注意深くお読みいただいた上、すべての条項に同意いただける場合は

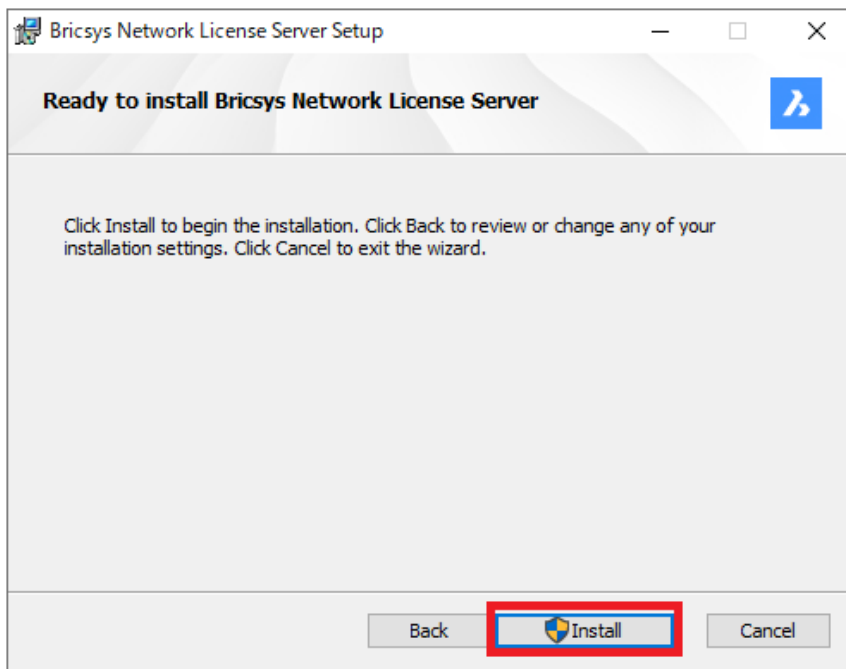
[I accept the terms in the License Agreement]を選択し、**[Next]**ボタンをクリックします。

7) インストールするフォルダを確認し、**[Next]**ボタンをクリックします。

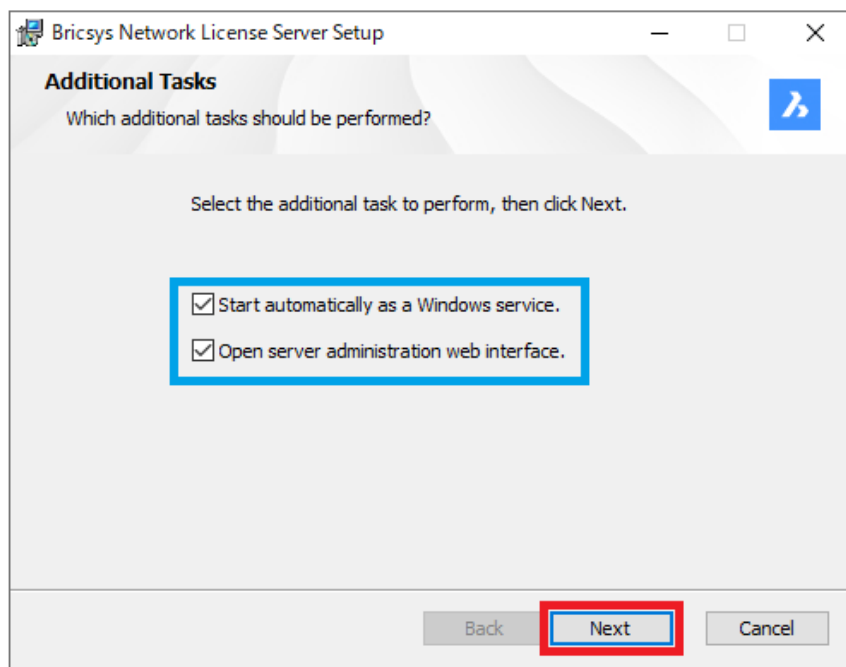
※下記がデフォルトのインストールフォルダ(推奨)です。必要のある場合のみ変更してください。

C:\Program Files\Bricsys\Bricsys Network License Server\

- 8) インストールの確認が表示されます。[Install] ボタンをクリックします。



- 9) 「Additional Tasks」が表示されます。チェック内容を確認後[Next]ボタンをクリックします。
(チェックボックス:ON(デフォルト)推奨)



- ☒ **Start automatically as a Windows service.**(Windows サービスを自動的に開始)
インストール後、Reprise License Server のサービス(RLM)を自動的に開始します。
Windows を起動するたびに、ライセンスサーバーはサービスとして自動的に起動します。
後でこれを行うには、管理者特権のコマンドプロンプトで次のコマンドを実行します
:`rlm.exe -dlog rlm.log -install_service`
ライセンスの追加ボタンをクリックして新しいネットワークライセンスのアクティベートダイアログ
ボックスが表示されたら、ネットワークライセンスを入力してアクティベートします。

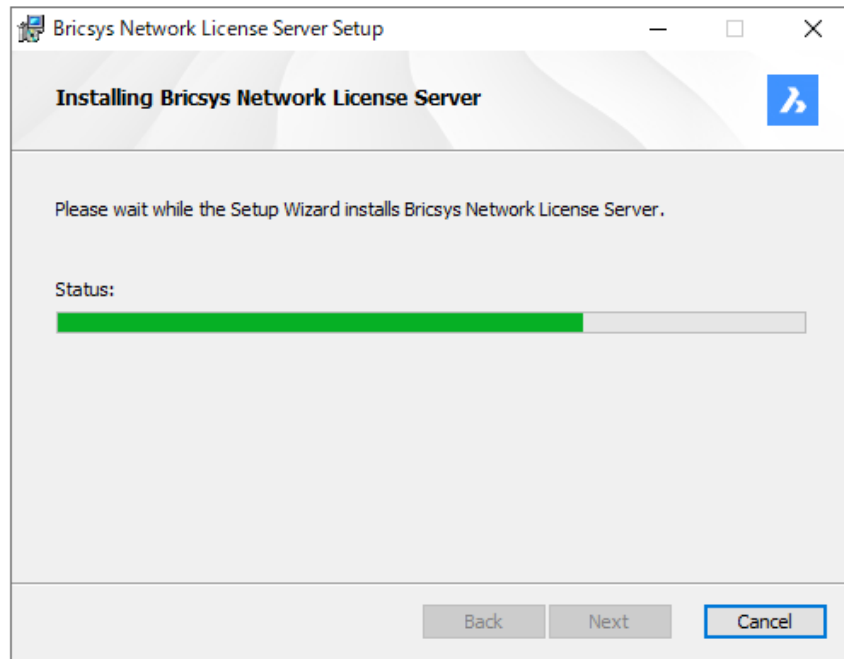
後から、Bricsys ネットワークライセンスマネージャーのデスクトップショートカットを使用して、

Bricsys ネットワークライセンスマネージャーダイアログボックスを開くことができます。

注: ご使用のシステムで有効なライセンスが検出されない場合、ネットワークライセンスのアクティベートダイアログボックスが最初に表示されます。

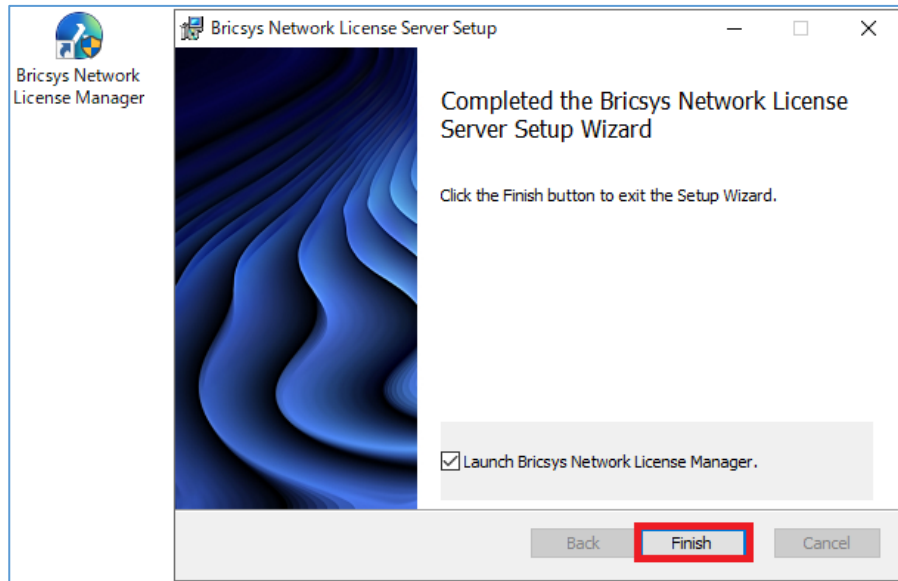
- ☒ **Open Server administration web interface.**(Web ブラウザでリプライズ ライセンスサーバー管理を開く)
インストール後、Reprise のライセンスサーバー管理のウェブが立ち上がります。このウェブインターフェースで、ネットワークライセンスを管理できます。後から、[スタート] メニューの [Bricsys] - [License Server Administration] をクリックして、Web ブラウザにて「Reprise License Server Administration」ページを開くこともできます。

10) **[Next]** ボタンをクリックすると、インストールが始まります。



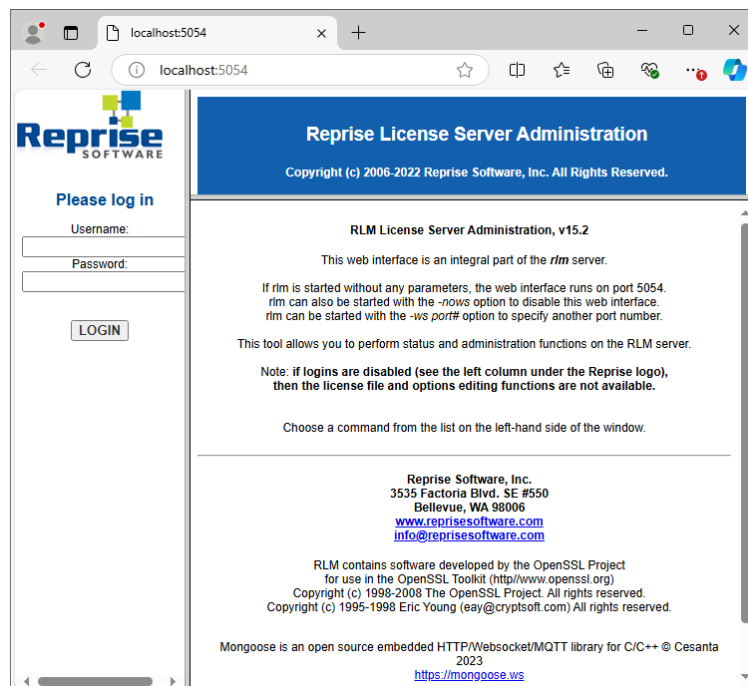
- 11) インストールが終了し、デスクトップに「Bricsys Network License Manager」ショートカットアイコンが作成されます。

[Finish]ボタンをクリックし、インストーラを終了します。



「Launch Bricsys Network License Manager」にチェックを入力(デフォルト)した場合、インストーラ終了後に、BricsCAD ネットワークライセンスをアクティベートするための Activete New Network License ダイアログが表示します。

- 12) Web ブラウザにて「localhost:5054」が開かれます。(「Open Server administration web interface.」のチェックを外していた場合、ブラウザは表示されません。)



アクティベート完了後に、ライセンスサービスの再起動を行いますので、閉じずに残しておいてください。

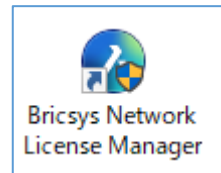
引き続いてアクティベートを実行します。

2. アクティベート

「Bricsys Network License Manager Setup」 インストーラの最後のウィンドウで「Laund Bricsys Network License Manager」にチェック入力(デフォルト)状態で終了すると、「Activate New Network License」ダイアログボックスが表示しますので、アクティベートを実行します。

複数のライセンスキーを取得されています場合、同じサーバーで管理するすべての BricsCAD ネットワークライセンスキーのアクティベートを実行してください。

※「Activate New Network License」が表示されていない場合は、デスクトップの [Bricsys Network License Manager] をダブルクリックして起動します。

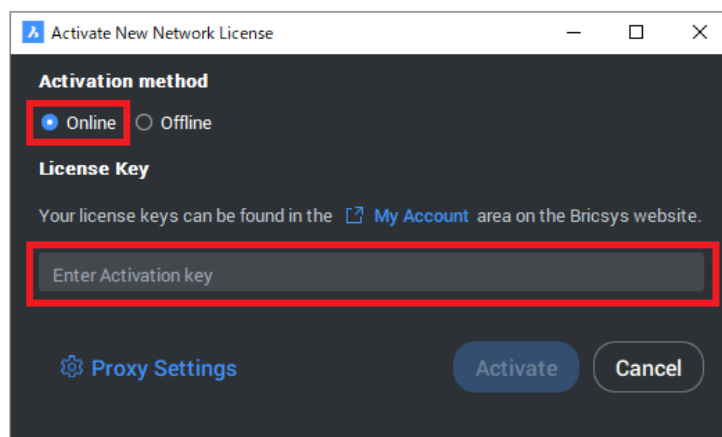


- 1) 初めてネットワークライセンス管理マネージャーをインストールした場合、「Activate New Network License」ダイアログボックスが表示します。

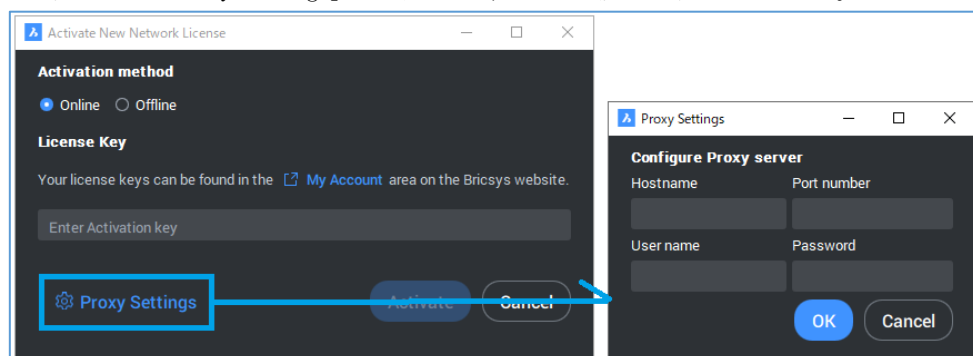
Activation method では Online が選択されています。(デフォルト)

※BricsCAD のアクティベーション実行時ネットワーク接続を行います。

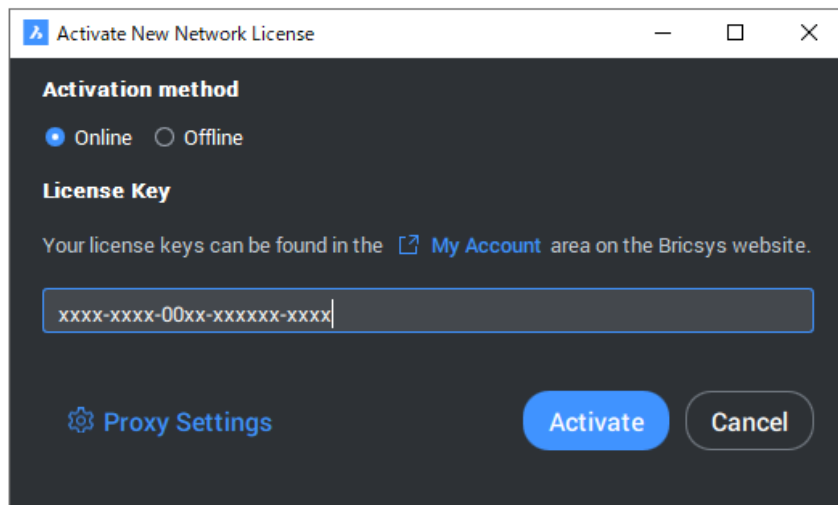
[License Key] の欄にネットワークライセンスキーを入力します。



※必要に応じて「Proxy Settings」をクリックして、プロキシ設定を行ってください。

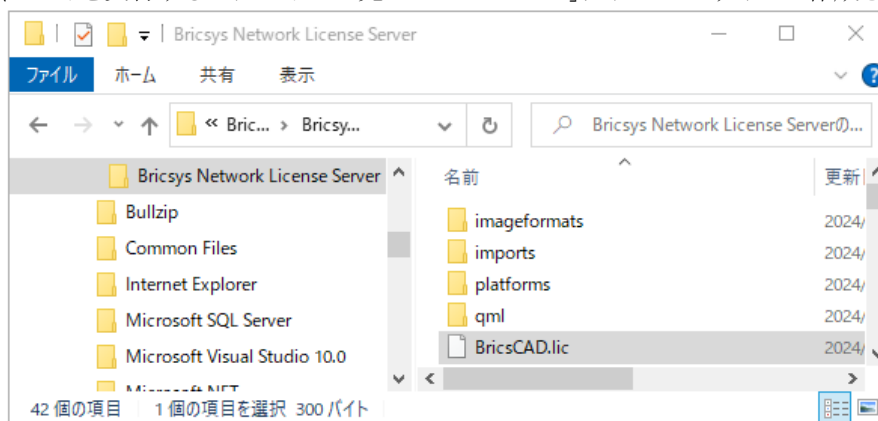


- 2) [License Key]の欄にネットワークライセンスキーを入力し、[Activate]ボタンをクリックします。



※オフライン環境の Activation method では Offline を選択します。⇒[p.19 「7. オフライン\(手動\) アクティベートについて」](#)

アクティベートを実行するとインストール先に「BricsCAD.lic」ライセンスファイルが作成されます。



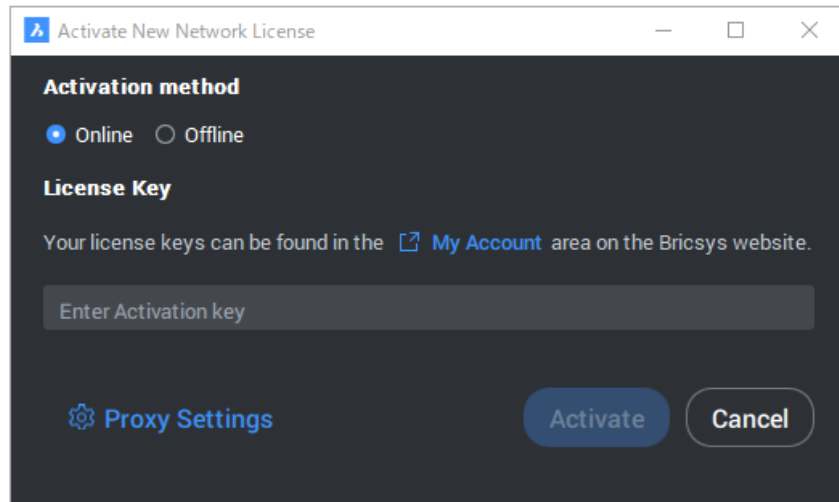
グレードごとなど、複数のライセンスキーのアクティベートが必要な場合、グレードごとなどの分かりやすいファイル名称に変更してください。

例) BricsCADV25_pro.lic

拡張子「.lic」を変更しないようにご注意ください。

※冗長構成の Failover サーバーではアクティベートを行いませんのでご注意ください。

- 3) アクティベート終了後も「Activate New Network License」が表示された場合は[Cancel]ボタンを押して終了します。

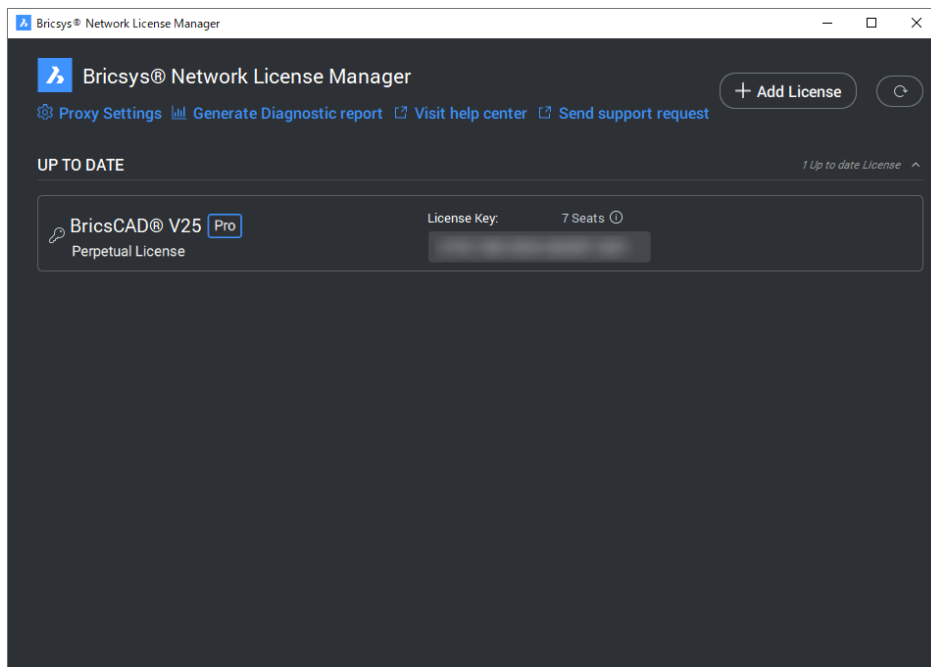


ライセンスファイルは必要に応じてバックアップしてください。

- 4) 1 つ目のアクティベート終了後、または、アクティベート後に改めて、デスクトップの[Bricsys Network License Manager] をダブルクリックして起動した場合、「Bricsys Network License Manager」ダイアログが表示されます。アクティベート済みキーの情報が表示されます。

ダイアログ右上の[×]をクリックして終了します。

※ライセンスキーを追加でアクティベートする場合は、[+Add License]をクリックしてアクティベートを実行してください。



複数キーのアクティベートを実行された場合、全てのライセンスファイルを必要に応じてバックアップしてください。

3. グレード識別 ID の設定

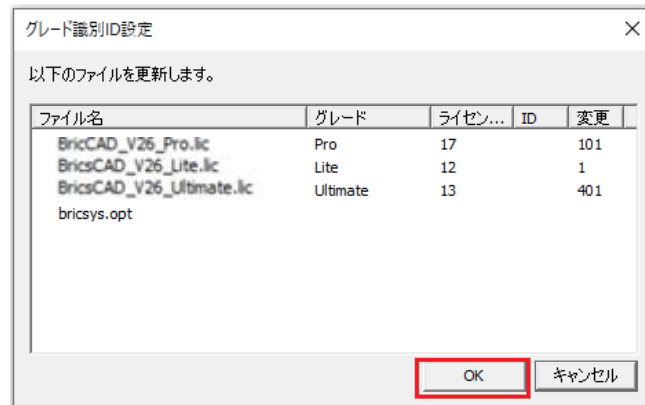
ライセンスファイルに BricsCAD グレードの識別 ID を付加します。

識別 ID を設定していない場合は、クライアント PC にクライアントインストーラーでインストールした BricsCAD から任意のグレードのライセンスが取得できません。

ダウンロードされました「BricsCADNWRLM_1041.zip」を解凍します。

- 1) BricsCADNWRLM_1041¥MISC¥ID_SettingTool¥ を開きます。
- 2) BricsCADNWKeep.exe をダブルクリックします。
- 3) グレード識別 ID 設定ダイアログを起動します。

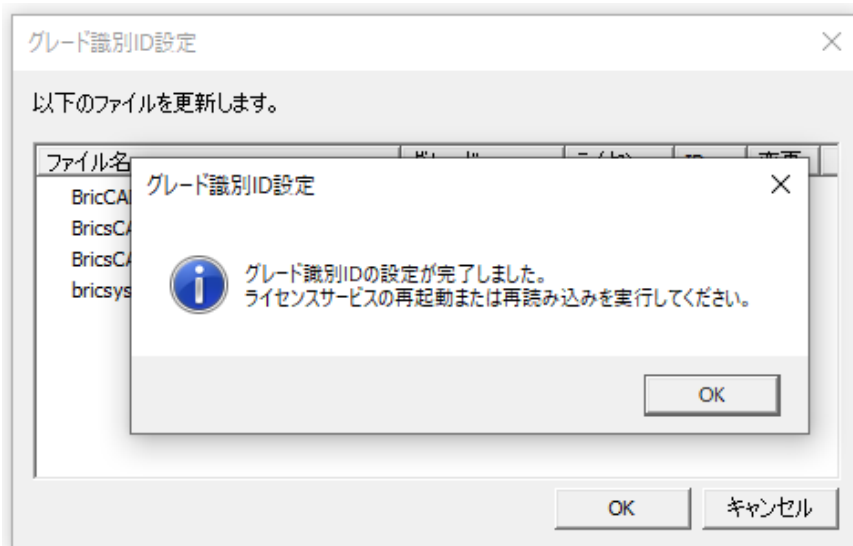
ここでは、自動的に Bricsys Network License Server のインストール先 (デフォルト「C:¥Program Files¥Bricsys¥Bricsys Network License Server」) 以下にあるライセンスファイルを読み込みます。



- 4) [OK]ボタンをクリックします。グレード識別の ID を登録します。
- 5) ライセンスサービスの再起動を促すメッセージが表示します。

[OK]ボタンをクリックします。

グレード識別 ID 設定ダイアログの[キャンセル]ボタンをクリックし終了します。

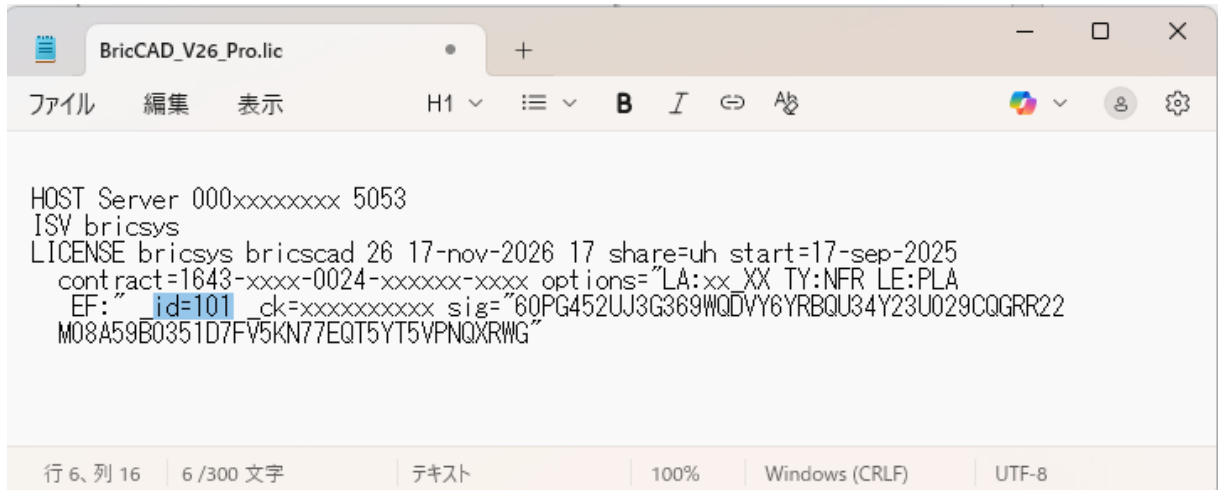


ライセンスファイルは必要に応じてバックアップしてください。

冗長構成の場合、Bricsys Network License Server のインストール先 (デフォルト「C:¥Program Files¥Bricsys¥Bricsys Network License Server」) に failover 用のライセンスファイルをコピーします。failover サーバーの同じ場所にも同じ*lic ファイル (複数ある場合は全てのlicファイル) をコピーします。

4. ライセンスファイルの識別 ID について

グレード識別 ID 設定(BricsCADNWKeep.exe)ツール実行後、ライセンスファイルの各ライセンス行に id が追加されます。



```
HOST Server 000xxxxxxxx 5053
ISV bricsys
LICENSE bricsys bricscad 26 17-nov-2026 17 share=uh start=17-sep-2025
contract=1643-xxxx-0024-xxxxxx-xxxx options="LA:xx_XX TY:NFR LE:PLA
EF:" id=101 ck=xxxxxxxx sig="60PG452UJ3G369WQDVY6YRBQU34Y23U029CQRR22
M08A59B0351D7FV5KN77EQT5YT5VPNQXRWG"
```

オプションファイルには、各 id について INCLUDE オプションが設定されます。



```
INCLUDE bricscad PROJECT bc_pro id=101
INCLUDE bricscad PROJECT bc_lite id=1
INCLUDE bricscad PROJECT bc_ultimate id=401
|
```

※オプションファイルの編集時には、これらの記述を誤って削除されないようご注意ください。
クライアントに対してのライセンスグレード制御ができなくなります。

5. Bricsys License Server Administration

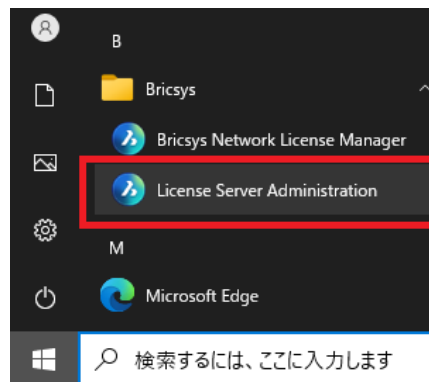
ここでは、ログオンユーザ「admin」のパスワードの変更とライセンスサービスの再読み込みを行います。

(「RLM software version V15.2」では、ログオンユーザ「admin」のパスワードが「admin」(初期値)の場合、ログインから 10 分後にサービスが停止します。その為、ログオンユーザ情報の変更が必要となります。)

Failover サーバーでは、本設定前に、先に入手されました Failover 用のライセンスファイルと Primary サーバーで作成したすべてのライセンスファイルを「C:\Program Files\Bricsys\Bricsys Network License Manager」にコピーします。

「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー (RLM) のインストール」で起動した管理画面を使います。

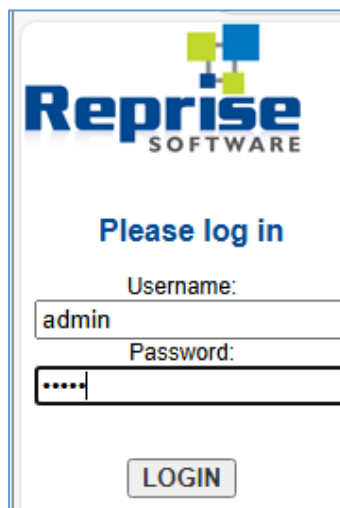
ウィンドウを閉じられた場合は、[Windows スタート]メニューの[Bricsys]-[License Server Administration]をクリックして、Reprise ライセンスサーバー管理(ブラウザ)を起動します。



- 1) ブラウザで「Reprise License Server Administration」が表示されていることを確認します。
- 2) ユーザーネームとパスワードを入力し、[LOGIN]ボタンをクリックします。

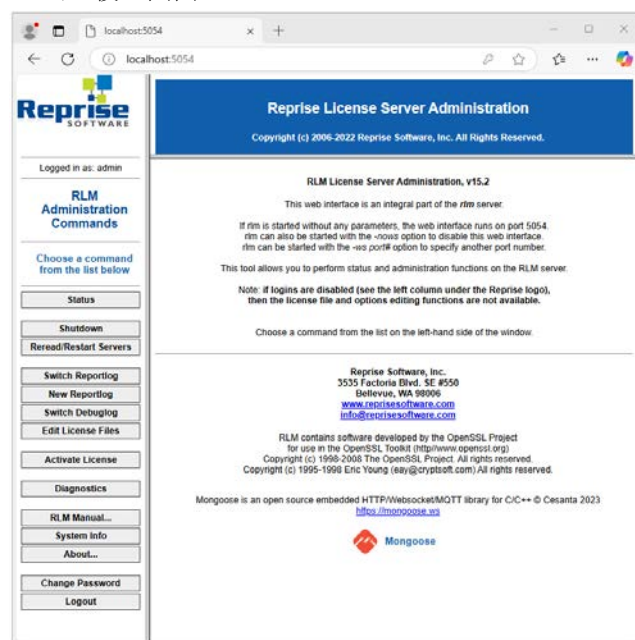
Username : admin

Password : admin

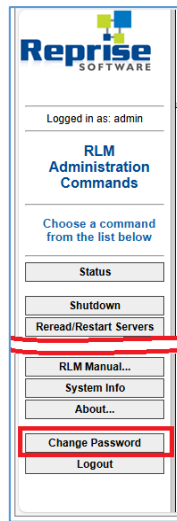


※「Username : admin」と「Password : admin」は RLM の初期設定です。

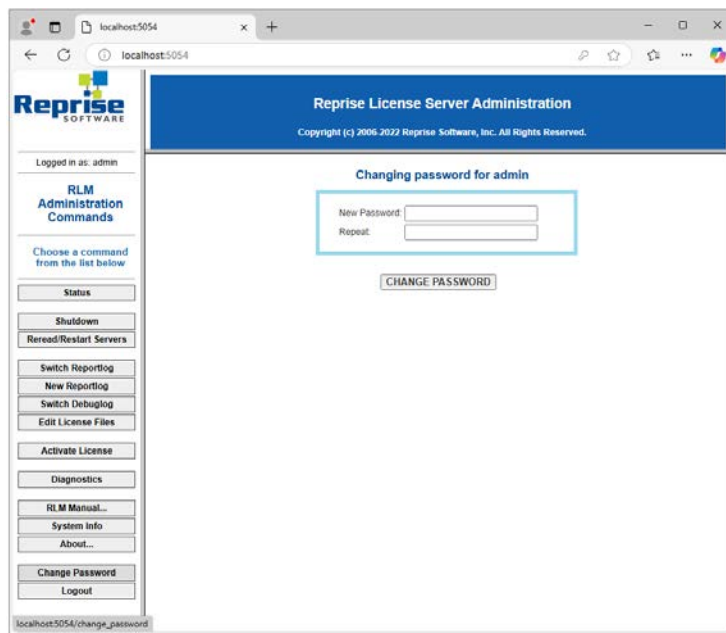
ログイン後の画面



- 3) 画面左側の項目から [Status]ボタンをクリックします。ライセンス状態が表示されます。
- 4) 画面左側項目の下側にある[Change Password]ボタンをクリックします。



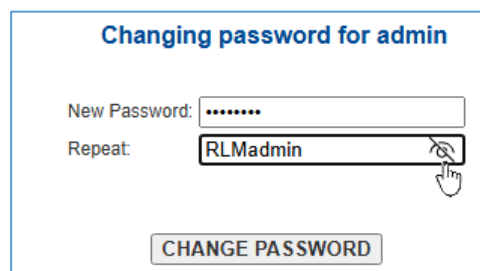
- 5) Changing password for admin 画面が表示します。パスワードを入力します。



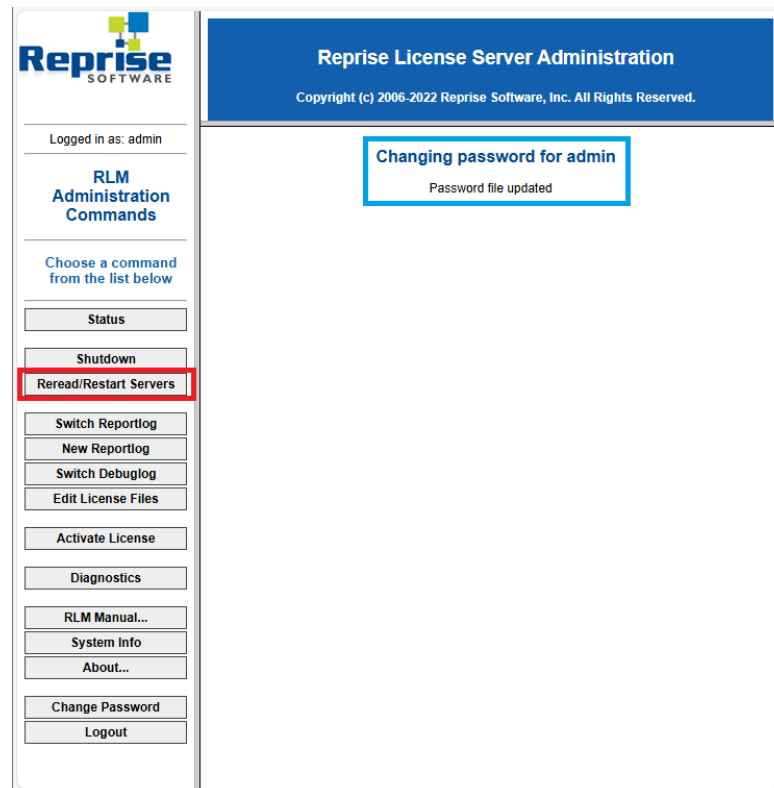
パスワード: RLMadmin

(パスワード入力例) New Password: に「RLMadmin」と入力します。

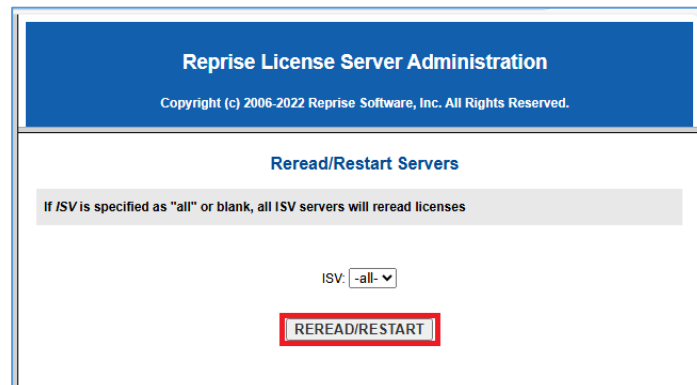
Repeat: に同じ「RLMadmin」を入力し、右側のアイコンをクリックし表示を確認します。



- 6) [CHANGE PASSWORD]ボタンをクリックします。
パスワードが更新されます。
- 7) 画面左側の項目から [Reread/Restart Servers]ボタンをクリックします。



- 8) Reread/Restart/Servers 画面が表示します。中央の[REREAD/RESTART]ボタンをクリックします。



- 9) ライセンスの再読み込みが実行され、画面に「Reread command sent to all servers」と表示されます。画面左側の項目から [Status]ボタンをクリックします。

10) 読み込まれたライセンスが表示します。「license files」に使用中のライセンスファイル名が表示されます。

「Server Status」項目の[bricsys]ボタンをクリックします。

Reprise License Server Administration

Copyright (c) 2006-2022 Reprise Software, Inc. All Rights Reserved.

Status for "rlm" on 192.168.1.104 (port 5053)

RLM software version	v15.2 (build 1)
RLM comm version	v1.2
debug log file	rlm.log
license files	C:\ProgramData\Reprise\reprise
	BricsCAD_V25_Pro.lic
	BricsCAD_V25_Communicator.lic
	BricsCAD_V25_Lite.lic
	BricsCAD_V25_Ultimate.lic
	failover.lic

rlm Statistics	Since Start	Since Midnight	Recent
Start time	11/13 15:09:49	11/13 15:09:50	11/13 15:09:50
Messages	5 (0/sec)	5 (0/sec)	5 (0/sec)
Connections	4 (0/sec)	4 (0/sec)	4 (0/sec)

EDIT rlm Options
SHOW rlm Debug Log

ISV Servers	Name	port	Running	Restarts	Server Status	License Usage	Debug Log	REREAD	TRAN
bricsys	63911	Yes	0	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys	bricsys

11) ライセンス一覧が表示します。Product には製品名のみ表示されます。

Administration Commands

Choose a command from the list below

Status

Shutdown

Reread/Restart Servers

Switch Reportlog

New Reportlog

Switch Debuglog

Edit License Files

Activate License

Diagnostics

RLM Manual...

System Info

About...

Change Password

Logout

Product	Pool	Ver	Expires	count	soft lim	inuse	res	ti
bricscad	1	26		11	17	0	0	
communicator	2	26		12	12	1	0	
bricscad	3	26		12	12	0	0	
bricscad	4	26		13	13	2	0	

License pool status

Pro

Lite

Ultimate

これで、ライセンスマネージャーの基本的な構築作業は完了です。

必要に応じて、ライセンスマネージャーで使っているポート番号に対して、ファイアウォールの除外設定を行ってください。

6. Windows ファイアウォールの設定

「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」を「Windows ファイアウォール」に対して通信の許可を与えておく必要があります。

- 1) スタートメニューで[Windows システムセキュリティ]を選択し [ファイアウォールとネットワーク保護]から「詳細設定」を開きます。
- 2) [受信の規則]を選択し、[新しい規則]をクリックします。
- 3) 「規則の種類」より「プログラム」を選択し [次へ]ボタンをクリックします。
- 4) 「このプログラムのパス」を選択し、[参照]ボタンをクリックします。
- 5) ファイルの選択画面から、「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」のインストール先にある“rlm.exe”を選択します。
初期値:C:\Program Files\Bricsys\Bricsys Network License Server¥
- 6) 「このプログラムのパス」の欄に入力後、[次へ]ボタンをクリックします。
- 7) 「接続を許可する」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
- 8) 許可するプロファイルにチェックを付け[次へ]ボタンをクリックします。
制限をする必要が無い場合、すべてチェックオンにする。
- 9) 名前の欄に理解できる任意の名前を入力(入力例:rlm.exe)し、[完了]ボタンをクリックします。

※冗長構成の場合 Failover サーバーでも同様の設定を行います。

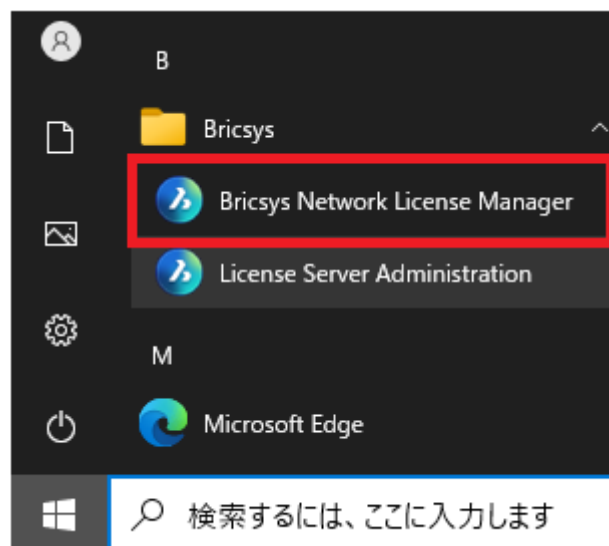
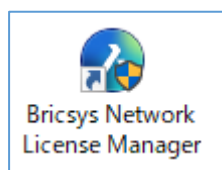
7. オフライン(手動)アクティベートについて

通常、「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」のインストール後、「License Manager」の画面でライセンスキーを入力し、オンラインアクティベートを行います。

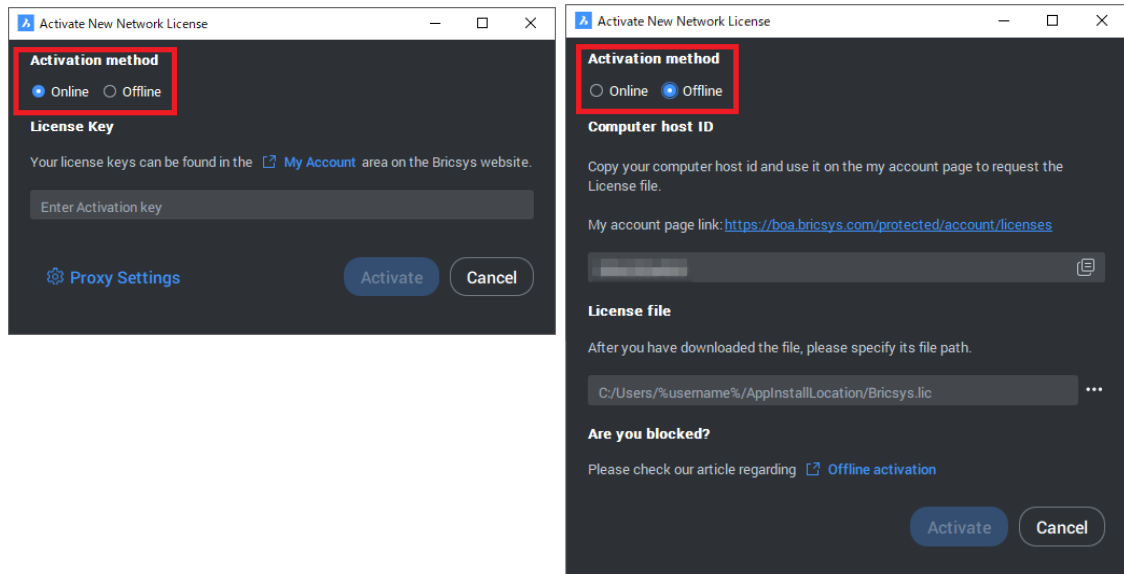
サーバーPC の Web 接続を制限をされていてオンラインによるアクティベートが困難な場合、オフライン(手動)アクティベートでライセンスファイルを取得し、ライセンスサーバーに登録することで、ネットワークライセンスによる運用を行うことができます。

操作手順は以下です。

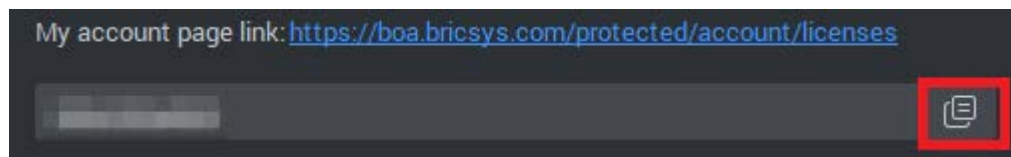
- 1) 「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」をインストールした PC のデスクトップショートカット「Bricsys Network License Manager」アイコンをダブルクリックします。
(または「スタート」ボタンより、[Bricsys]-[Bricsys Network License Manager] をクリックします。)



- 2) Activation New Network License ダイアログの「Activation Method」を「Online」(デフォルト)から「Offline」に変更します。

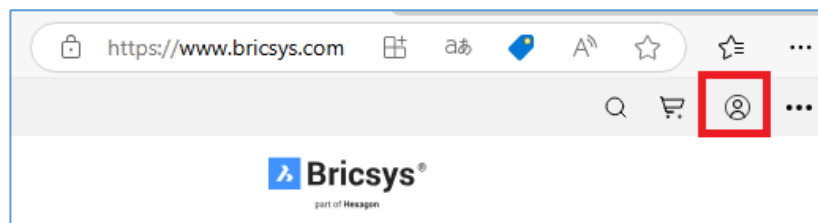


- 3) 「My account page link」の下に、「コンピュータ HOST ID」が自動的に表示されます。
右側のアイコンをクリックすると「コンピュータ HOST ID」の値が、クリップボードにコピーされます。



- 4) 「My account page link」横に表示されている URL をクリックします。ブラウザが起動し、Bricsys サイト(ログインページ)が開きます。

インターネットの接続自体を制限されている場合は、インターネットに接続できる PC で [Bricsys のホームページ](https://www.bricsys.com) の右上側にある「アカウントアイコン」をクリックして、ログインページを開いてください。



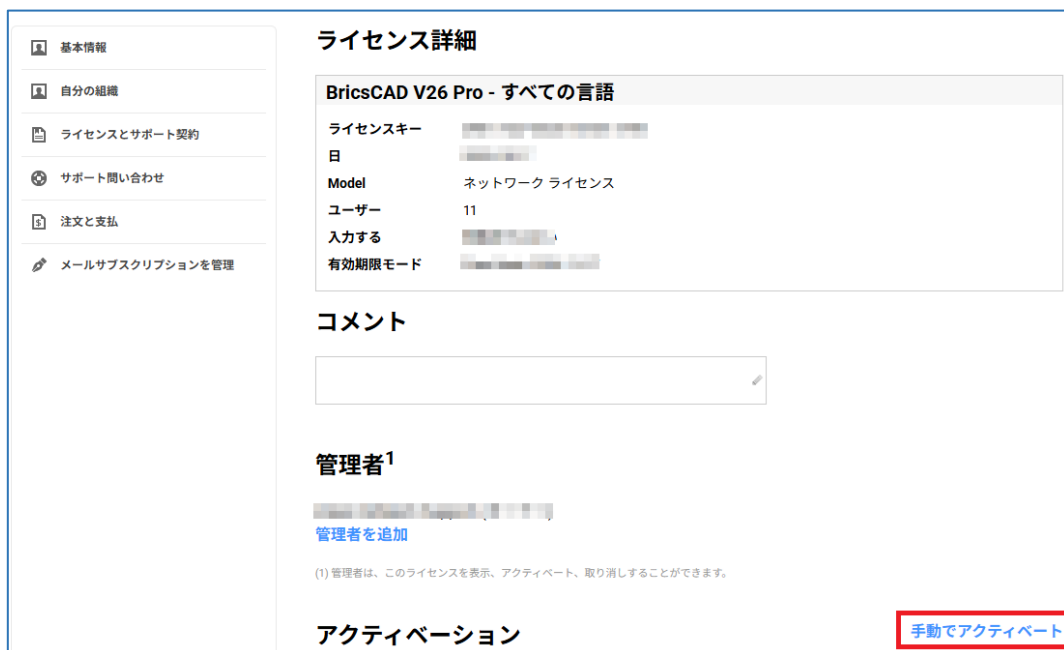
- 5) ライセンス登録者のメールアドレスでログインします。

「My account page link」横に表示されている URL リンクからアクセスした場合は、「ライセンスとサポート契約」ページが開きます。[Bricsys のホームページ](https://www.bricsys.com) の右上側にある「アカウントアイコン」をクリックして、ログインされた場合は、右上のログインユーザー名が表示されたアカウントアイコンをクリックし、メニューから「ライセンスの管理」を選択してください。

- 6) 「私のライセンス」欄に、ご購入製品名とライセンスキーなどの情報の一覧が表示されます
アクティブ化するライセンス キーの上にマウスを移動すると、鉛筆アイコンが表示しますのでをクリックします。



- 7) ライセンスの詳細が表示します。「手動でアクティベート」をクリックします。



- 8) “2)～3)”の手順でコピーしたインストール先のコンピューターの「コンピューター ホスト ID」を[ホスト ID]フィールドに貼り付けます。

手動でアクティベート

ライセンス詳細

BricsCAD V26 Pro - すべての言語

ライセンスキー	
日	
Model	ネットワーク ライセンス
ユーザー	11
入力する	
有効期限モード	

まずは BricsCAD の「オンライン認証 (Online Activation)」を使ってライセンスの認証をお試しください。認証中に問題が発生した場合は、サポートにお問い合わせください。「手動認証 (Manual Activation)」は、インターネット接続が利用できない、または制限されている場合にのみ使用してください。オンライン認証の際に一時的にインターネット接続があれば、それだけで十分です。なお、手動認証を行った場合、今後ライセンスを別のデバイスに移行する際やライセンスの更新時に、ライセンスの無効化 (Deactivate) ができなくなります。その場合には「ライセンスの取り消し (Revoke)」が必要になりますが、これは回数制限があり、返品対象外となる可能性がありますのでご注意ください。

ホストID¹: **アクティベート**

¹オフラインアクティベーションボックスの「ライセンス変更」BricsCADのホストIDをご確認ください。

- 9) [アクティベート]をクリックします。手動アクティベート画面に移行します。
- 10) ライセンスファイルが生成され、ダウンロードできるようになります。[ダウンロードライセンスファイル]をクリックします。

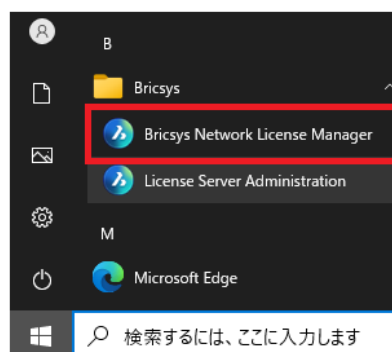
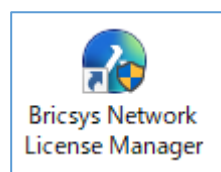
手動でアクティベート

アクティベーション成功

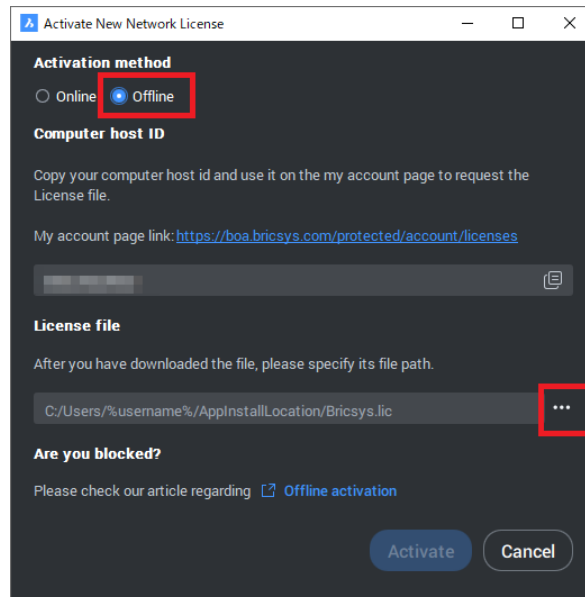
御使用になられたPCにライセンスファイルのダウンロードを行います。BricsCADにおいてマニュアルアクティベーションのダイアログが有効にいてブラウズボタンをクリックしてください。ライセンスファイルをごこのフォルダに保存するかのダイアログが出ます。

ダウンロードライセンスファイル

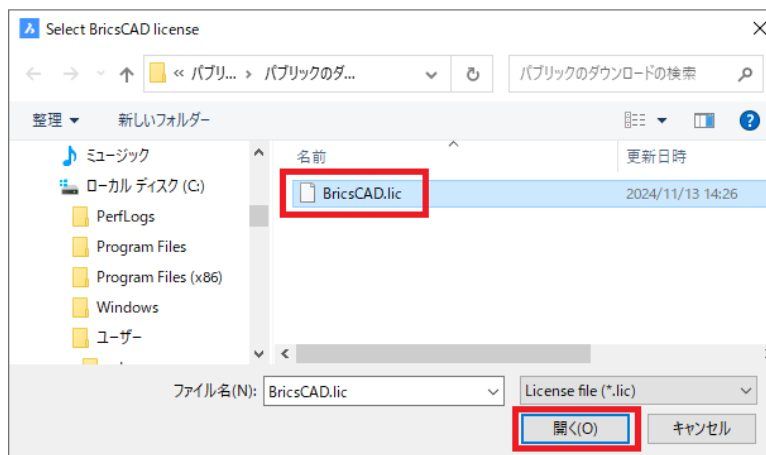
- 11) ライセンスファイルをインストール先のコンピューターサーバーの Bricsys ネットワークライセンス管理インストールフォルダにコピーするために、「Bricsys ネットワークライセンスマネージャー」をインストールした PC のデスクトップショートカット「Bricsys Network License Manager」アイコンをダブルクリックします。
- (または「スタート」ボタンより、[Bricsys]-[Bricsys Network License Manager] をクリックします。)



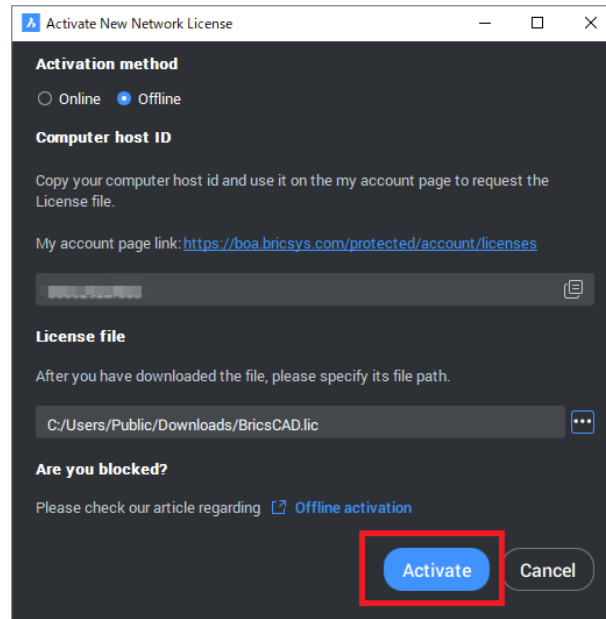
- 12) Activate New Network License ダイアログが表示します。「offline」を選択し、License file 欄の右側の参照ボタンをクリックします。



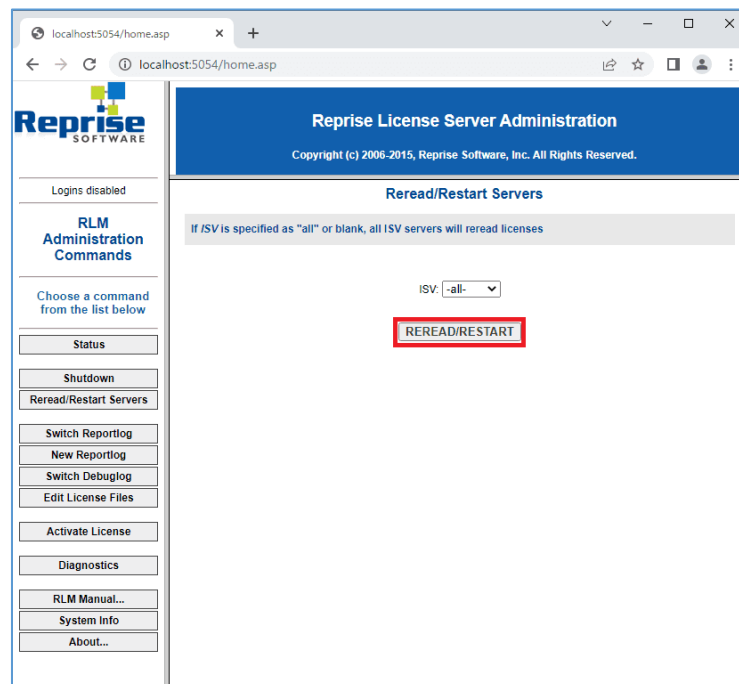
- 13) Select Bricscad license ダイアログが表示しますので、ダウンロードしたライセンスファイルを選択し、[開く]ボタンをクリックします。



- 14) License file 欄に選択したパスとライセンスファイルが表示し、Activate ボタンがアクティブになりますのでクリックして、アクティベートを完了します。



- 15) [License Server Administration] から [REREAD/RESTART] を実行します。



これでオフライン(手動)アクティベートは完了です。

引き続き、「3 グレード識別 ID の設定」からの作業を行ってください。

III. クライアントインストーラ作成

クライアント PC にサーバー接続情報(BricscadNW)を持つ BricsCAD をインストールするためのインストーラの作成方法について説明します。

クライアントインストーラは、グレードごとの作成になります。

1. クライアントインストーラ作成

クライアントインストーラについて説明します。

1. 事前準備

1) ライセンスファイル

ライセンスサーバーでのアクティベート時に作成されたライセンスファイル(*.lic)をクライアント、または参照できる共有フォルダにコピーしてください。

2) BricsCAD インストーラ

クライアントインストーラに含める BricsCAD インストーラをクライアント、または参照できる共有フォルダにコピーしてください。

Communicator のライセンスもお持ちの場合は、Communicator のインストーラもコピーしてください。

BricsCAD インストーラ名(日本語版):

BricsCAD-V2*.*.*-ja_JP(x64).msi

Communicator インストーラ名:

BricsCAD-Communicator-V2*.*.*(x64).msi

必ず、BricsCAD と同一バージョン(マイナーバージョンの値まで同じ)を準備してください。

2. クライアントインストーラの作成(標準)

1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。

2) ライセンスサーバー作業でダウンロードした NWRLM_Package.zip の中にクライアントインストーラの作成用インストーラが含まれています。

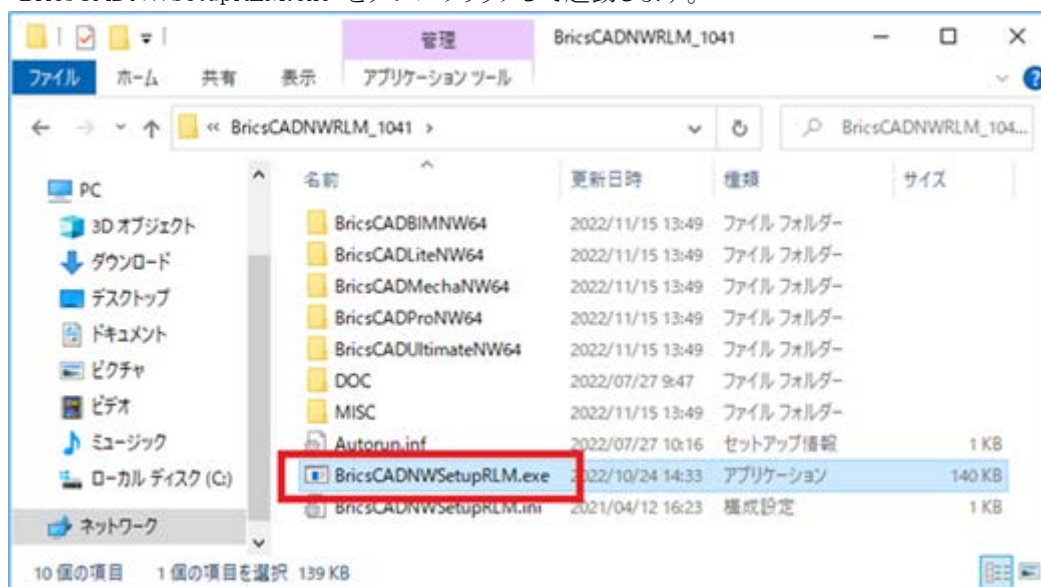
サーバーの共有フォルダにコピーしている場合、そのフォルダを開きます。

または、BricsCADNWRLM_1041.zip を任意の場所にコピーし、展開したのち、**BricsCADNWRLM_1041¥** を開きます。

BricsCADNWRLM_1041.zip のダウンロードページ:

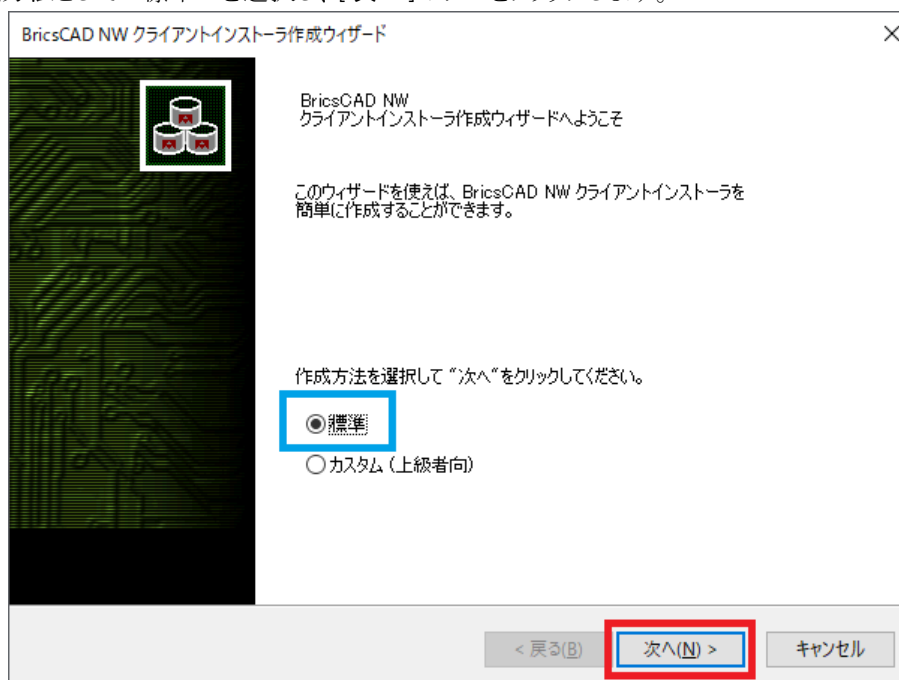
<https://www.bj-soft.jp/support/install/BricsCADreprise.html>

- 3) BricsCADNWSetupRLM.exe をダブルクリックして起動します。



- 4) 「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」 が起動します。

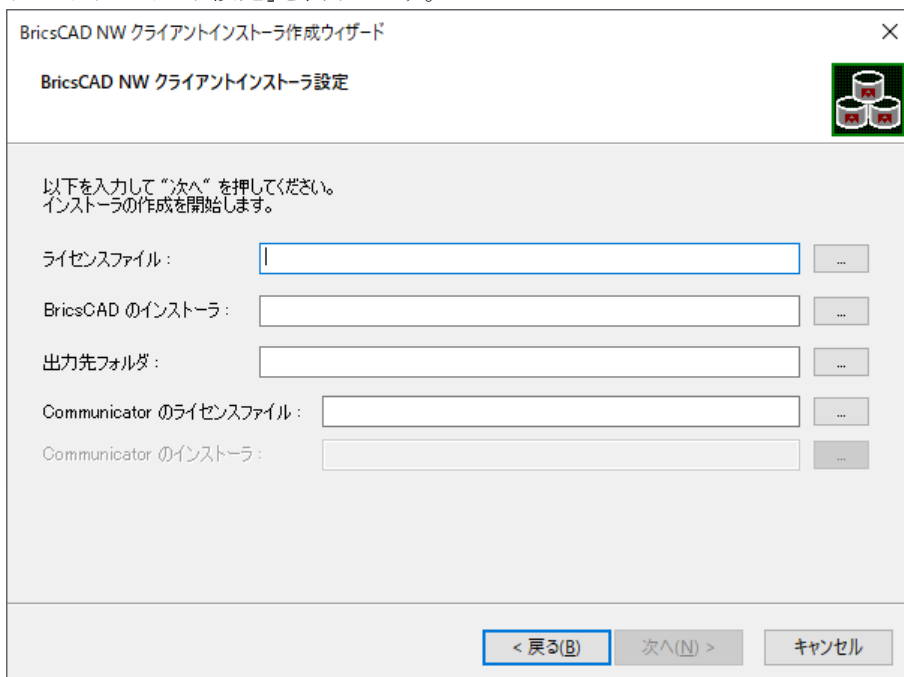
作成方法として ”標準” を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



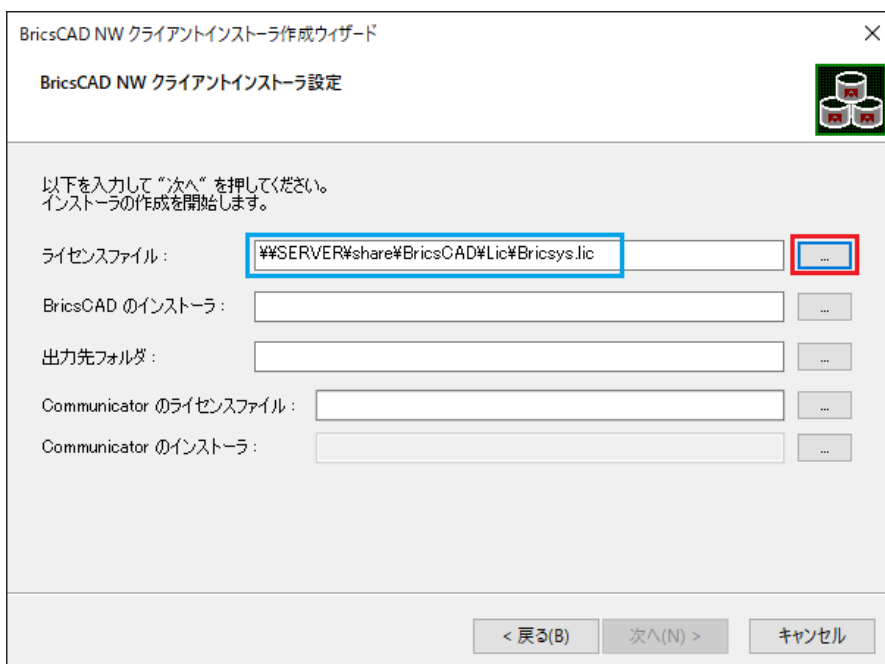
[標準]: 通常の場合選択します。

[カスタム(上級者向)]: 複数のグレードのインストーラの作成、過去のバージョンでカスタマイズしたファイルを引き継ぎたい場合に選択します。

- 5) 「クライアントインストーラ設定」を表示します。



- 6) ライセンスファイルを入力します。



[...]ボタンから、ライセンスサーバーで作成されたライセンスファイルを指示します。

- 7) BricsCAD のインストーラファイルを入力します。

[...]ボタンから、BricsCAD のインストーラを指示します

- 8) クライアントインストーラの作成先を入力します。

[...]ボタンから、クライアントインストーラの作成先を指示します

- 9) ここまでの入力で、[次へ]ボタンを押すことができます。

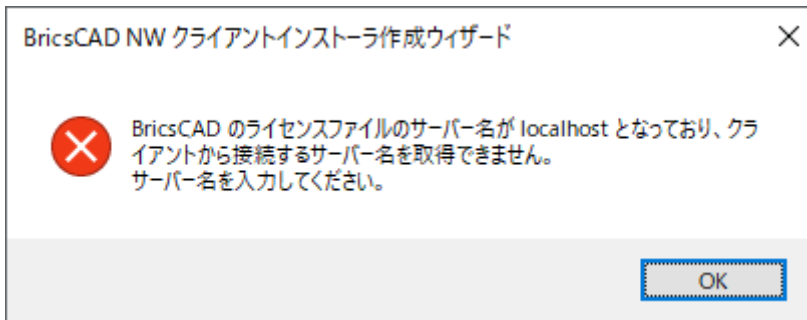
Communicator のクライアントインストーラが不要な場合は、[次へ]ボタンをクリックし、インストーラの作成を開始します。

Communicator のクライアントインストーラの作成が必要な場合、同じようにライセンスファイル、インストーラを入力してください。

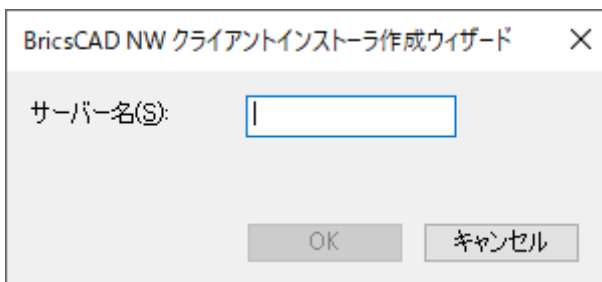
指定のライセンスファイルに記載のグレードのクライアントインストーラの作成を開始します。

(ご注意)

手動アクティベートで作成されたライセンスファイルを指定した場合、下記のエラーメッセージを表示します。



[OK]ボタンでサーバー名の入力画面を表示します。



サーバー名、またはライセンスサーバーの IP アドレスの入力後、[OK]ボタンでクライアントインストーラの作成を開始します。

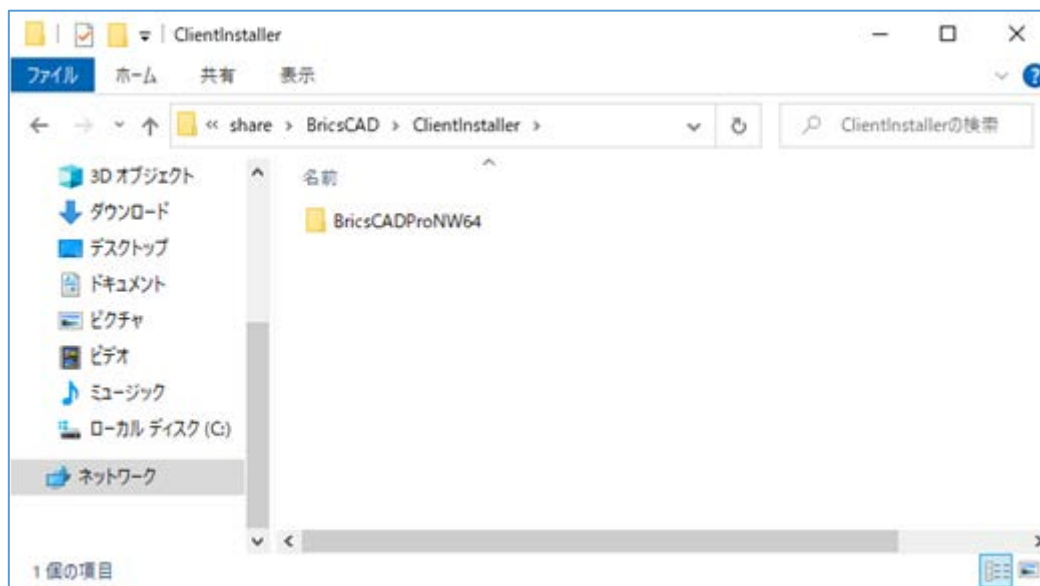
入力したサーバー情報で作成しますので、必ず、正しい値を入力してください。

10) クライアントインストーラの作成後、完了画面を表示します。

[完了]ボタンで「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」を終了します。



11) 出力先フォルダに、グレード単位のクライアントインストーラの作成を確認してください。



3. クライアントインストーラの作成(カスタム)

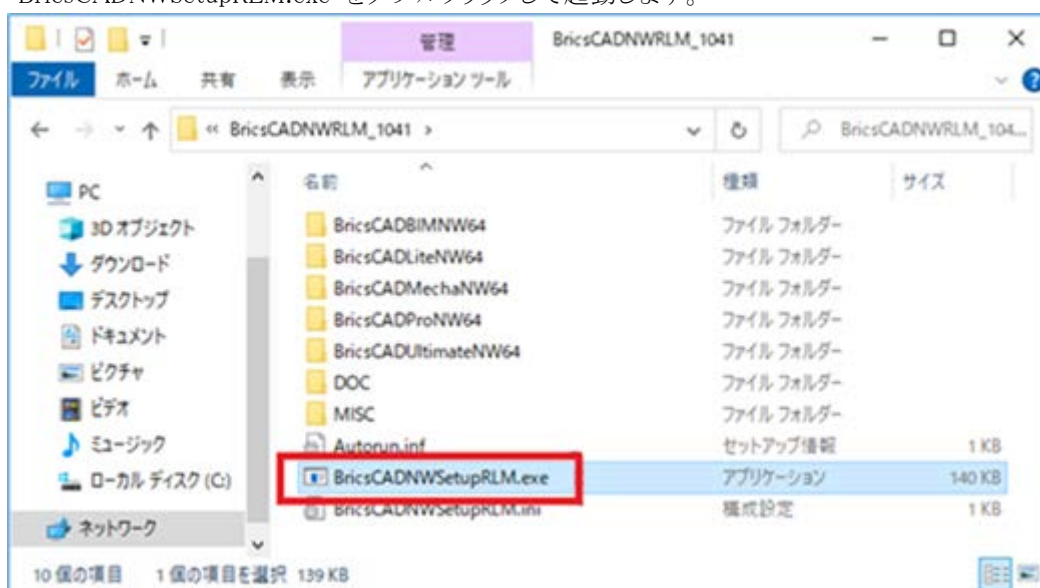
- 1) Administrator または管理者権限のあるユーザーでログオンしてください。
- 2) ライセンスサーバー作業でダウンロードした NWRLM_Package.zip の中にクライアントインストーラの作成用インストーラが含まれています。
サーバーの共有フォルダにコピーしている場合、そのフォルダを開きます。

または、NWRLM_Package.zip を任意の場所にコピーし、展開したのち、NWRLM_Package¥BricsCADNWRLM_1041¥ を開きます。

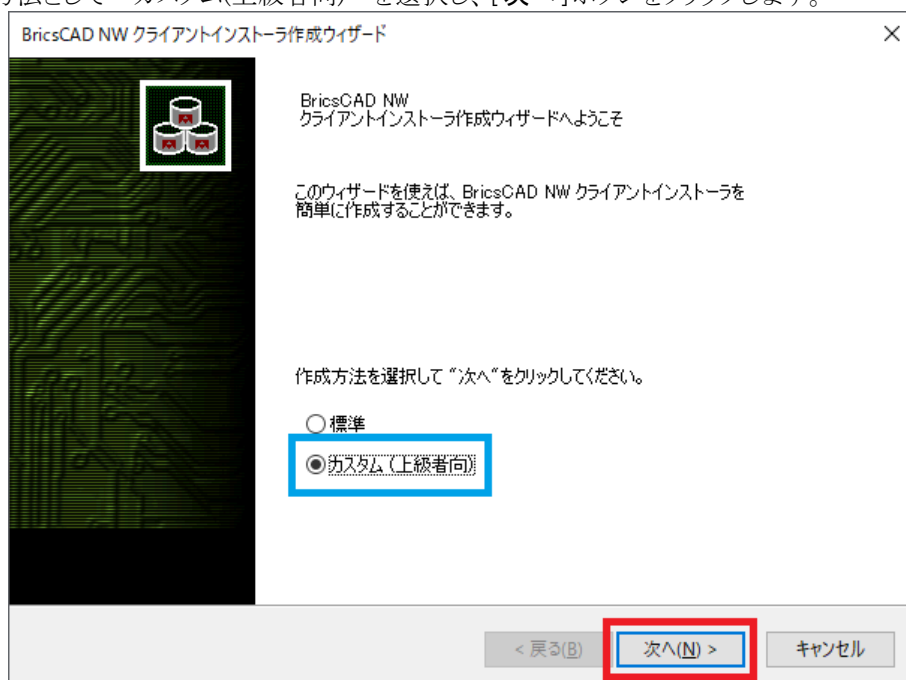
NWRLM_Package.zip のダウンロードページ:

<https://www.bj-soft.jp/support/install/BricsCADreprise.html>

- 3) BricsCADNWSetupRLM.exe をダブルクリックして起動します。



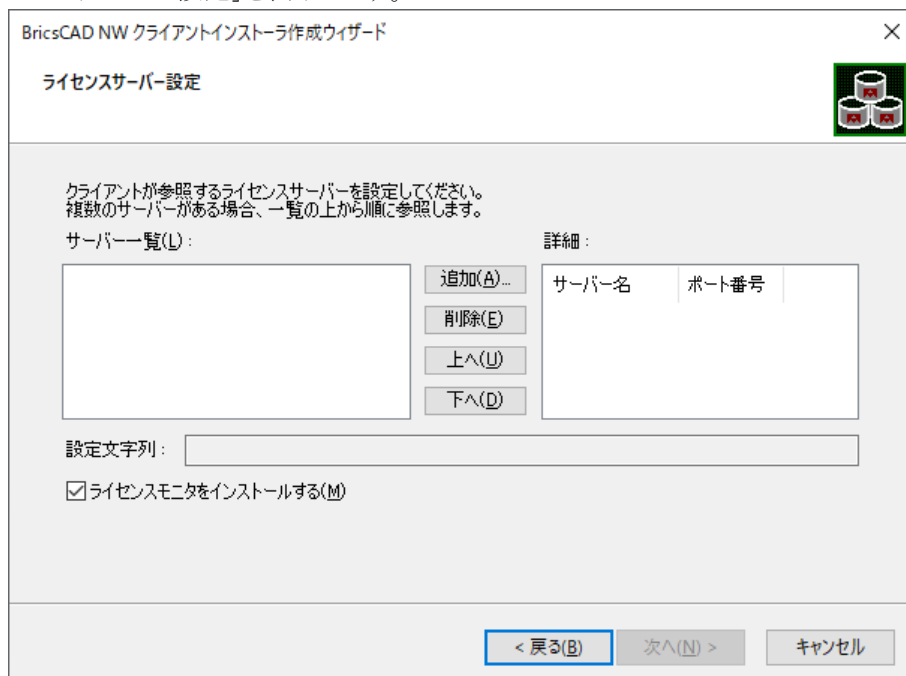
- 4) 「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」 が起動します。
作成方法として ”カスタム(上級者向)” を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



[標準]: 通常の場合選択します。

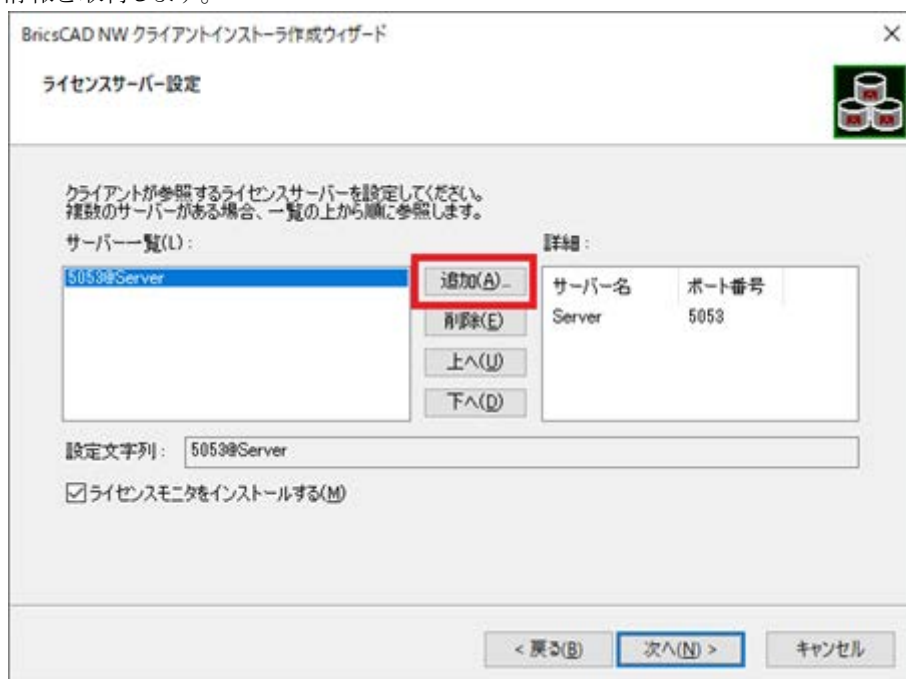
[カスタム(上級者向)]: 複数のグレードのインストーラの作成、過去のバージョンでカスタマイズしたファイルを引き継ぎたい場合に選択します。

- 5) 「ライセンスサーバー設定」を表示します。



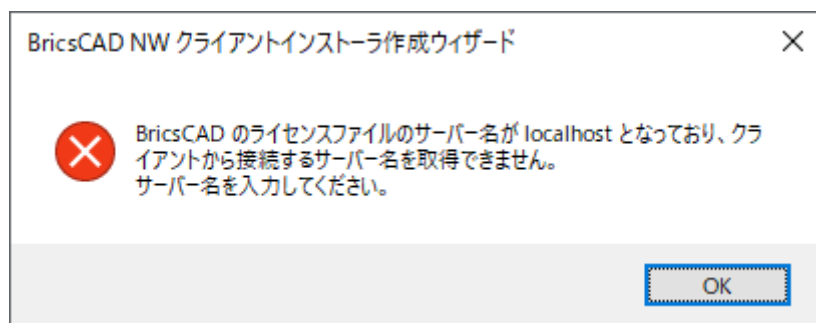
- 6) ライセンスサーバーを設定します。

[追加]ボタンからライセンスファイル(*.lic)を指示し、ライセンスファイルに記載のライセンスサーバー情報を取得します。

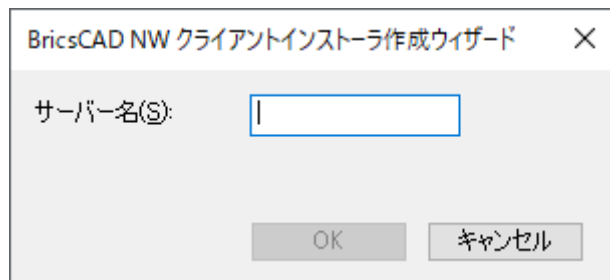


- (ご注意)

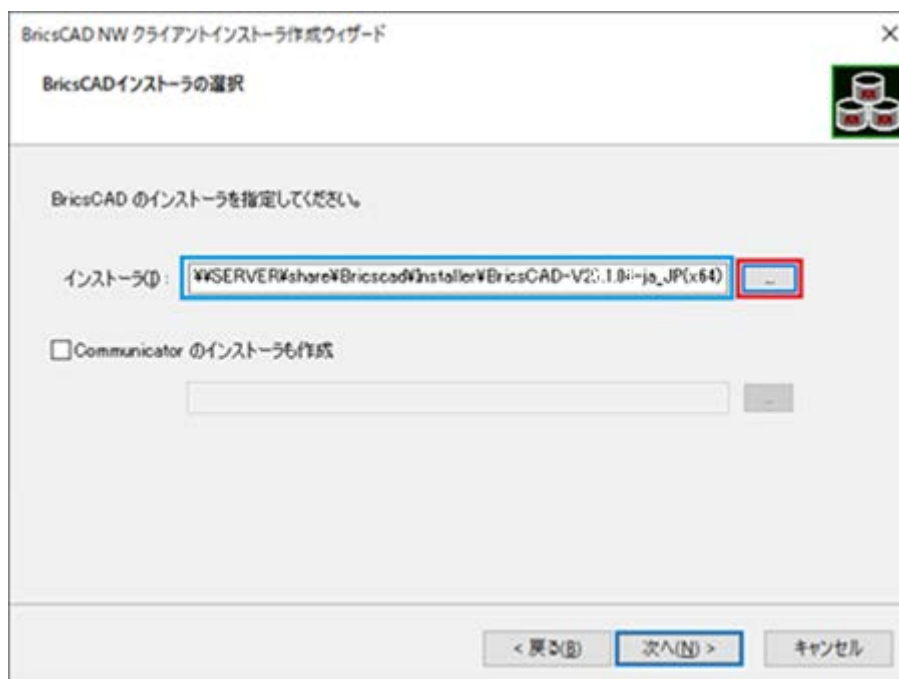
手動アクティベートで作成されたライセンスファイルを指定した場合、下記のエラーメッセージを表示します。



- 7) [OK]ボタンでサーバー名の入力画面を表示します。



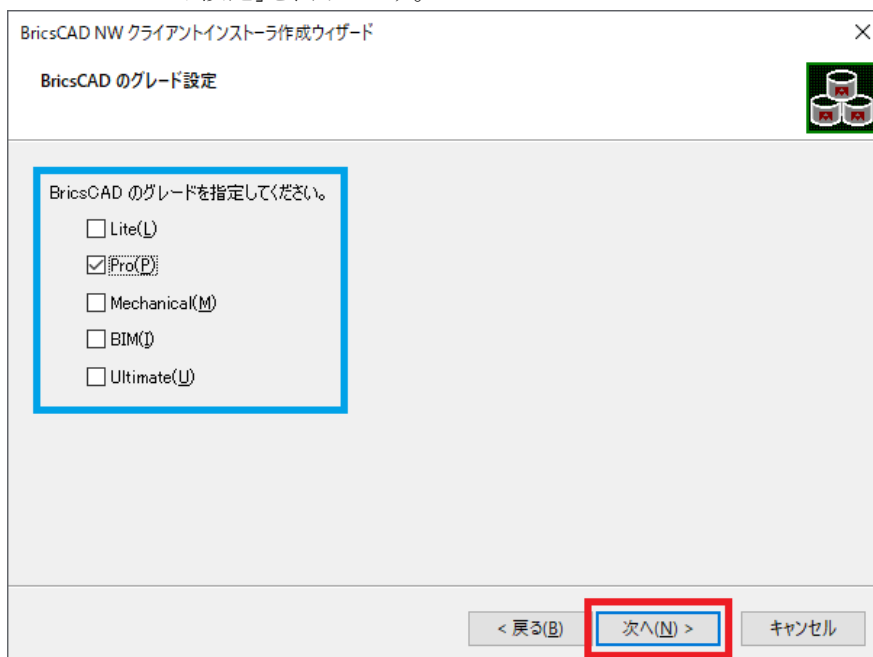
- 8) サーバー名、またはライセンスサーバーの IP アドレスの入力後、[OK]ボタンをクリックします。
入力したサーバー情報でライセンスサーバー設定を行います。
「ライセンスモニタをインストールする」のチェックボックスを確認し、必要に応じて変更してください。
- 9) [次へ]ボタンをクリックします。
- 10) 「BricsCAD インストーラの選択」を表示します。
[...]ボタンから、BricsCAD のインストーラを指示します。



Communicator のクライアントインストーラも作成する場合、「Communicator のインストーラも作成」のチェックボックスをオンにし、同様に [...]ボタンから Communicator のインストーラを指示します。

- 11) [次へ]ボタンをクリックします。

12) 「BricsCAD のグレード設定」を表示します。

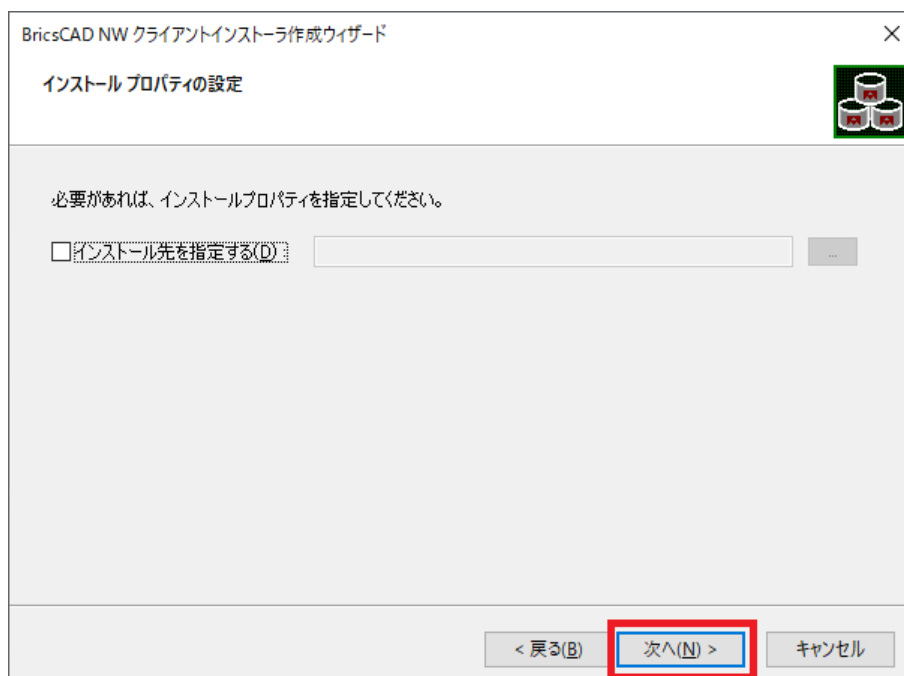


購入したグレードに対してチェックを付けて [次へ]ボタンをクリックします。

※チェックを付けたグレードごとのクライアントインストーラを作成します。

13) 「インストール プロパティの設定」を表示します。

初期値以外にインストールする必要がある場合、「インストール先を指定する」のチェックボックスをオンにし、[...]ボタンでインストール先を指示してください。



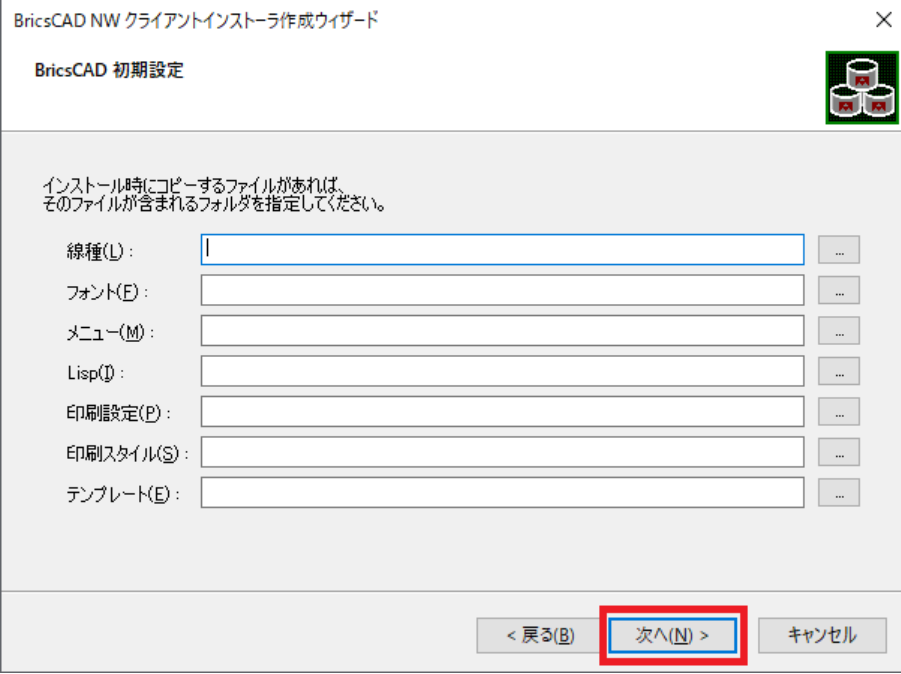
14) [次へ]ボタンをクリックします。

- 15) 「BricsCAD 初期設定」を表示します。

過去のバージョンでカスタマイズしたファイルを含んだ項目ごとにフォルダを指定してください。

指定フォルダには、必要なファイルのみを入れておいてください。

[次へ]ボタンをクリックし、進みます。



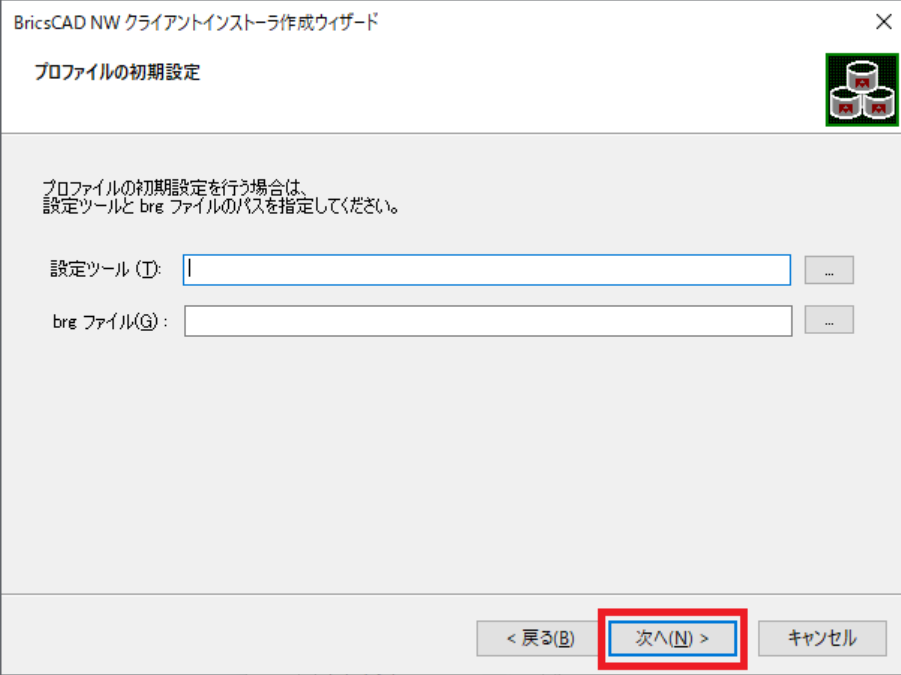
The screenshot shows the 'BricsCAD 初期設定' (BricsCAD Initial Settings) window. It has a title bar 'BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード' and a close button. Below the title bar is a BricCAD logo. The main area contains a message: 'インストール時にコピーするファイルがあれば、そのファイルが含まれるフォルダを指定してください。' (If there are files to be copied at installation, specify the folder containing those files). Below this are seven input fields with labels and browse buttons (...): '線種(L):', 'フォント(F):', 'メニュー(M):', 'Lisp(L):', '印刷設定(P):', '印刷スタイル(S):', and 'テンプレート(T):'. At the bottom are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a red rectangle.

- 16) 「プロファイルの初期設定」を表示します。

過去のバージョンのプロファイルに対して、「Bricscad プロファイル初期設定書き出しツール」を実行した場合、出力先に設定ツール(Binit.exe)、設定ファイル(*.brg)を出力します。

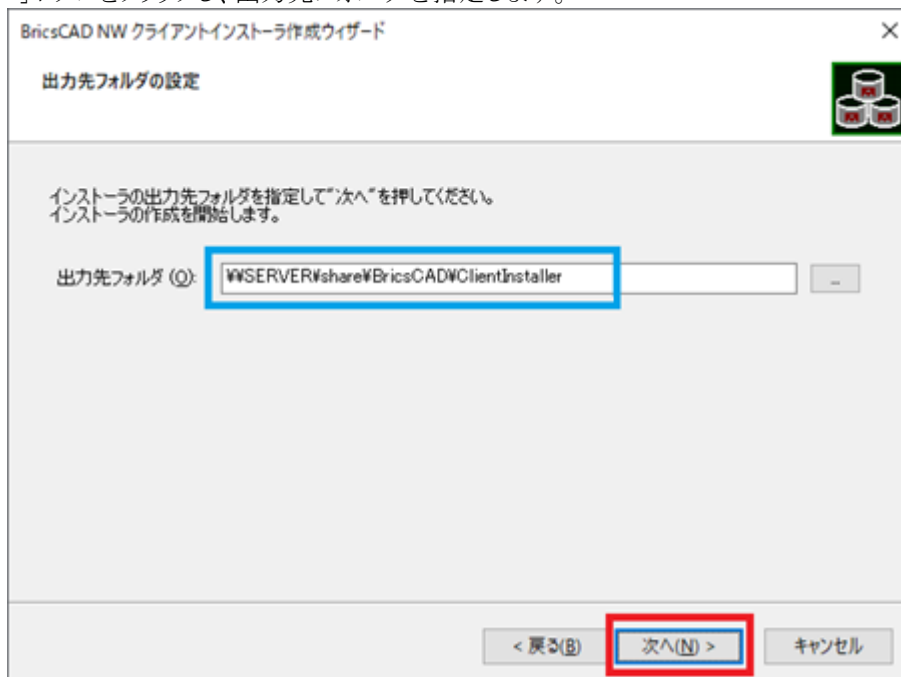
移行が必要な場合、それぞれを指定してください。

- 17) [次へ]ボタンをクリックし、進みます。



The screenshot shows the 'プロファイルの初期設定' (Profile Initial Settings) window. It has a title bar 'BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード' and a close button. Below the title bar is a BricCAD logo. The main area contains a message: 'プロファイルの初期設定を行う場合は、設定ツールと brg ファイルのパスを指定してください。' (When performing profile initial settings, specify the path for the setting tool and the brg file). Below this are two input fields with labels and browse buttons (...): '設定ツール (T):' and 'brg ファイル(B):'. At the bottom are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a red rectangle.

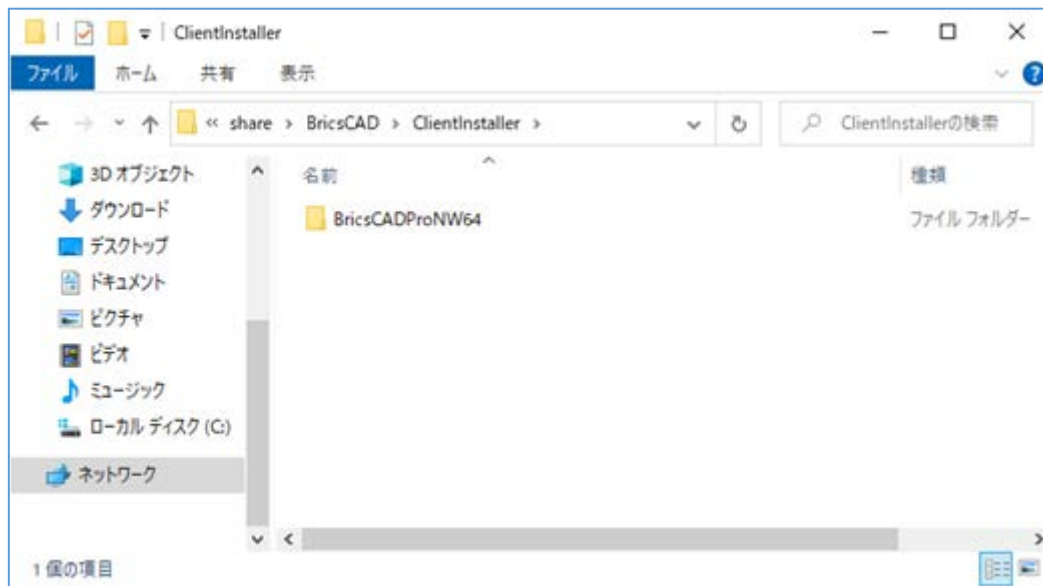
- 18) 「出力先フォルダの設定」を表示します。
[...]ボタンをクリックし、出力先フォルダを指定します。



- 19) [次へ]ボタンのクリックでチェックしたグレードのクライアントインストーラを出力先に作成します。
20) クライアントインストーラの作成後、完了画面を表示します。
[完了]ボタンで「BricsCAD NW クライアントインストーラ作成ウィザード」を終了します。



21) 出力先フォルダに、グレード単位のクライアントインストーラの作成を確認してください。

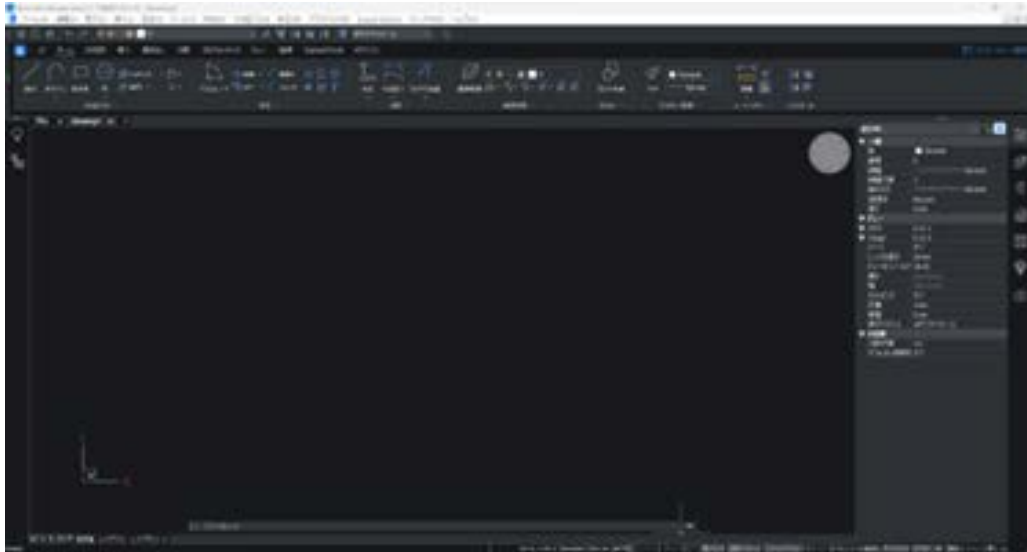


2. プロファイル初期設定ファイル

BricsCAD の初期値を設定するファイルの書き出し作業について説明します。

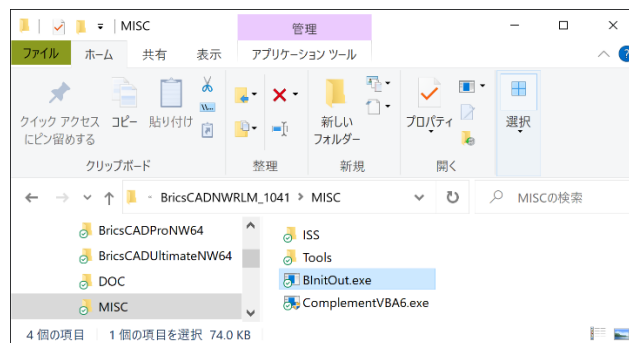
1. プロファイル初期設定ファイルについて

プロファイル初期設定ファイルとは、BricsCAD を始めて起動するときに自動作成されるプロファイル(default)に予め自社専用の設定を組み込むものです。

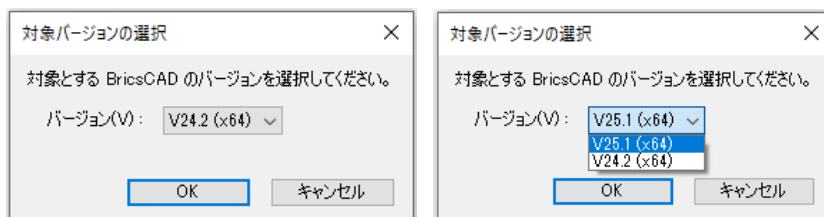


2. プロファイル初期設定ファイルの作成

- 1) BricsCADNWRLM_1041\MISC¥ 以下の BInitOut.exe を実行します。



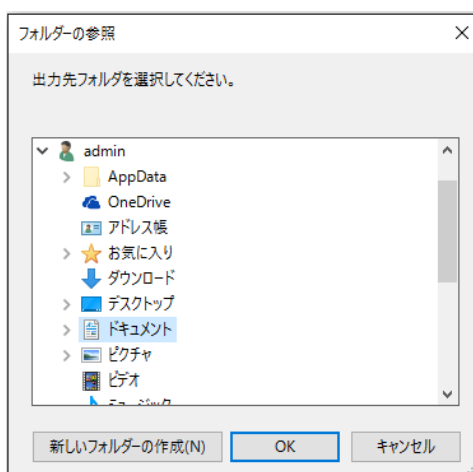
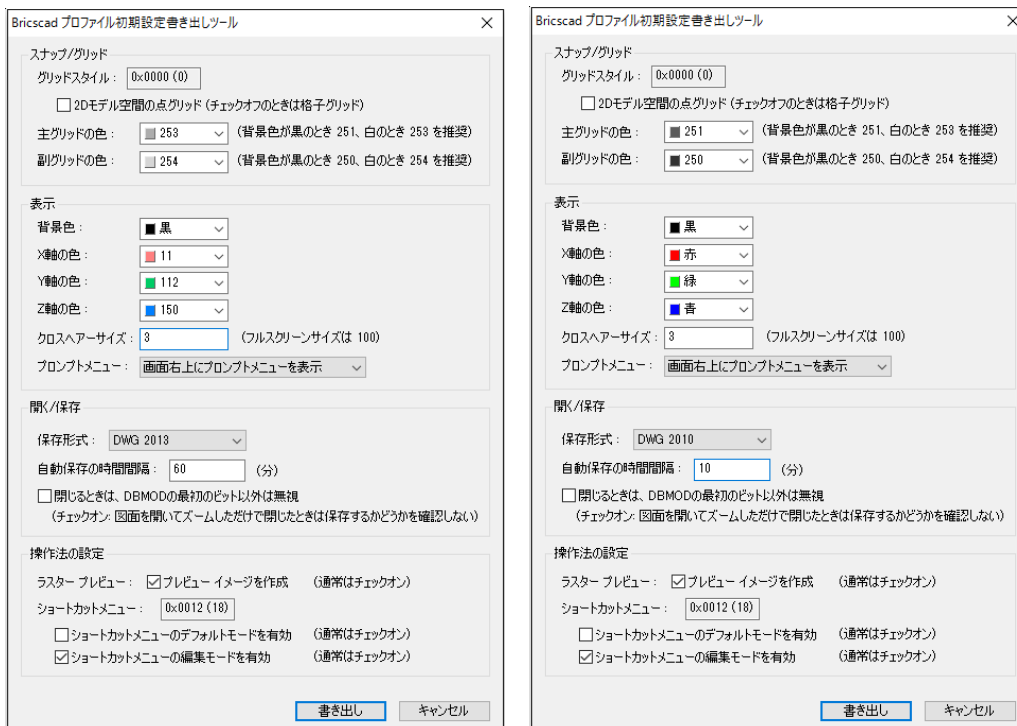
※BricsCAD を複数インストールしている環境で実行した場合、BricsCAD の選択肢が表示されます。



その場合は環境を登録するバージョンを選択して、[OK]をクリックします。

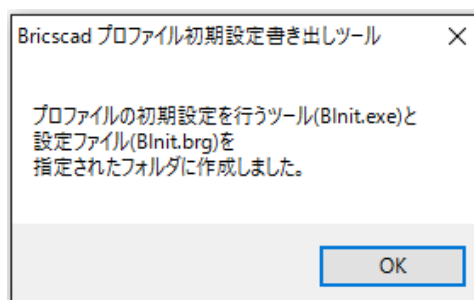
- 2) ダイアログ内の設定項目を設定します。[書き出し]をクリックします。

(設定例)



- 3) 保存するフォルダを指定し、[OK]をクリックします。
- 4) メッセージが表示されます。[OK]をクリックします。
- 5) Bricscad プロファイル初期設定書き出しツールダイアログの[キャンセル]をクリックします。

ダイアログが終了します。

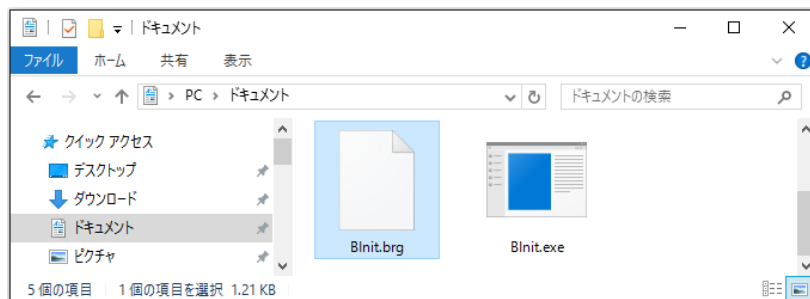


3. 設定ファイル

指定したフォルダに下記の 2 つのファイルが書き出されます。

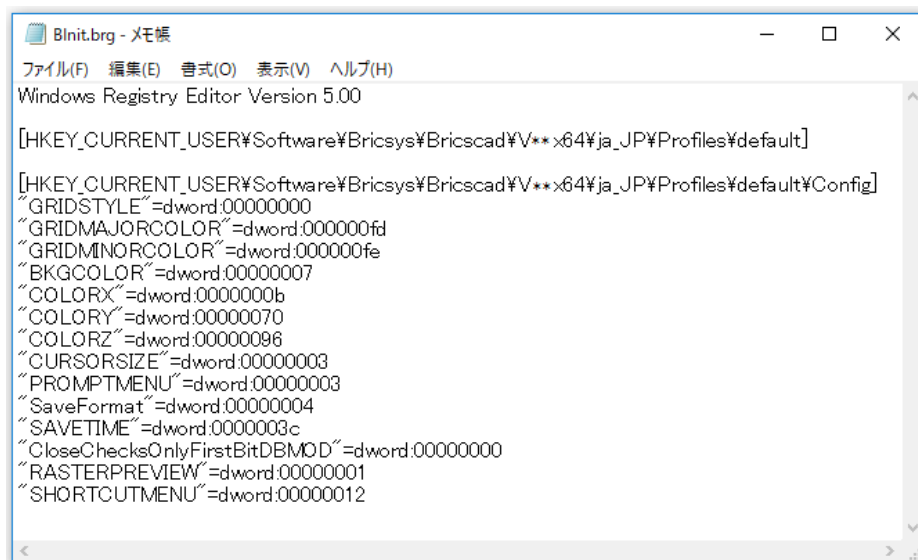
Blinit.brg (設定内容のファイル)

Blinit.exe (書き出した設定内容を登録するためのプログラム)

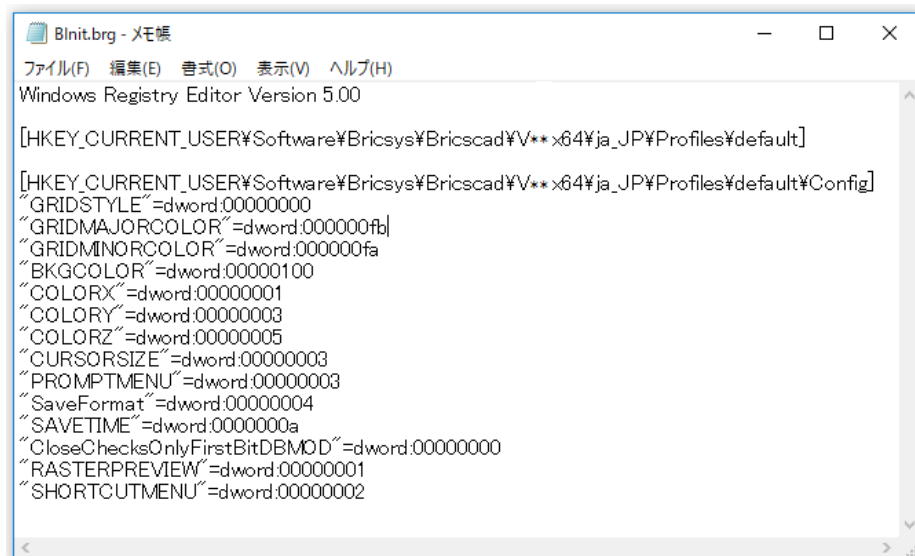


設定ファイルにはレジストリに登録する値が書き出されます。

(BricsCAD V** 64bitインストール環境でデフォルトのまま書き出した場合の設定ファイル)



(前頁の(設定例)のように設定項目を変更して書き出した場合の設定ファイル)



書き出したファイルは、クライアントインストーラの作成の「プロファイルの初期設定」の画面で使⽤します。
クライアントインストーラを作成するクライアントから参照できる場所に保存しておいてください。

IV. クライアントインストール

クライアントインストーラは、ユーザー様が作成します。

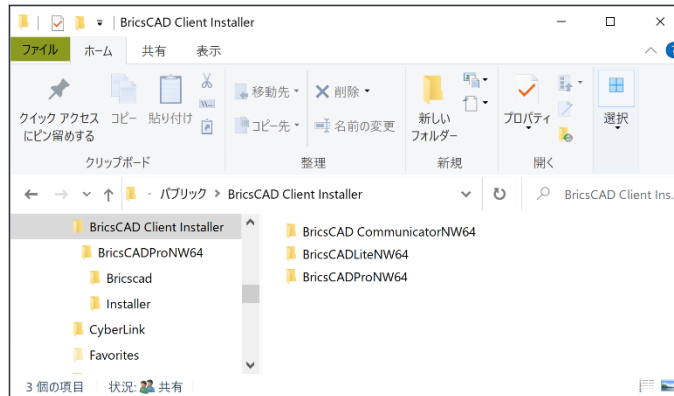
BricsCAD リビジョンアップにより、クライアントインストーラ内の BricsCAD を変更される場合は、必要に応じて再作成してください。

Reprise 対応バージョン: BricsCAD V22～

1. BricsCAD のインストール

クライアントに BricsCAD（ネットワークライセンス用）をインストールします。

1. BricsCAD クライアントインストーラ フォルダ構成について



クライアントインストーラを使ってインストールします。

クライアントインストーラにはグレードごとの BricsCAD 用と Communicator 用があります。

■インストールフォルダの構築例

ご購入製品例: BricsCAD Lite と Pro と Communicator

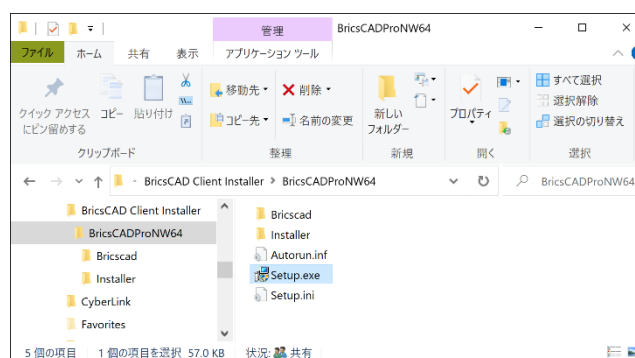
(フォルダ説明)

BricsCAD LiteNW64: BricsCAD Lite のインストーラ

BricsCADProNW64: BricsCAD Pro のインストーラ

BricsCAD CommunicatorNW64: BricsCAD Communicator のインストーラ

各フォルダ以下にある Setup.exe を実行するとインストールが始まります。



(ご注意)

インストール対象のクライアント PC に BricsCAD がインストールされている場合、初期設定ではすべての BricsCAD と BricsCAD NW をアンインストールして、現バージョンのインストールが実行されます。

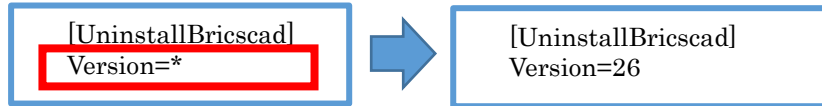
過去バージョンのアンインストールの有無は setup.ini のセクションを編集することで設定変更が可能です。

Setup.ini は各クライアントインストーラの Setup.exe と同じ場所に作成されます。

複数のクライアントインストーラを作成された場合は、それぞれの BricsCAD クライアントインストーラ、Communicator インストーラごとに設定の変更が必要です。

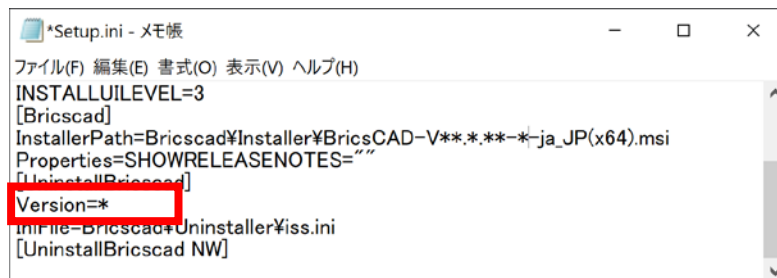
BricsCAD V** 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例

初期設定「version=*」: インストールされたすべての BricsCAD をアンインストールします。過去バージョンをアンインストールしたくない場合、記述を以下のように編集します。



インストール対象の BricsCAD バージョンは必ず記述する必要があります。(記載例の意味: V24 をアンインストールし、再度インストールします。他バージョンがあれば何もせず残します)

BricsCAD-Communicator V** 64bit をインストール対象にしているクライアントインストーラの setup.ini の例

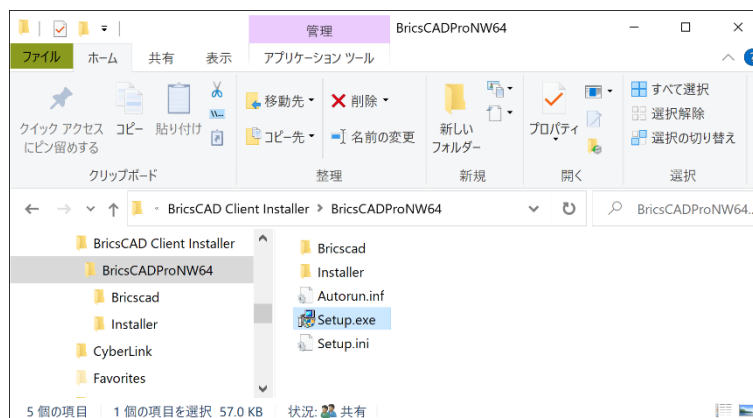


2. BricsCAD のインストールの実行

BricsCAD Pro ネットワーク版のインストール作業例です。

- 1) 管理者権限(Administrator)でログインします。
使用中のアプリケーションはすべて終了してください。
- 2) インストールするグレードのクライアントインストーラのフォルダを開きます。
- 3) Setup.exe をダブルクリックします。

(例: BricsCADPro 64bit 版用のフォルダを開いた例です)

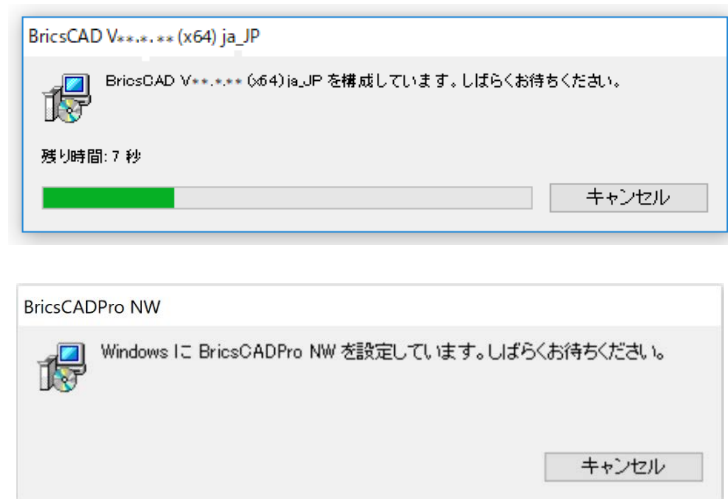


OS によってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

(クライアントインストーラにある Setup.ini を初期設定でご使用の場合、インストールされているすべての BricsCAD をアンインストールしてからインストールします。)

4) メッセージが表示されます。

※BricsCAD の旧バージョンがインストールされている場合、先に旧バージョンがアンインストールされます。



メッセージが消えたら、インストールの完了です。

これで、クライアント PC への BricsCAD インストール作業は終了です。

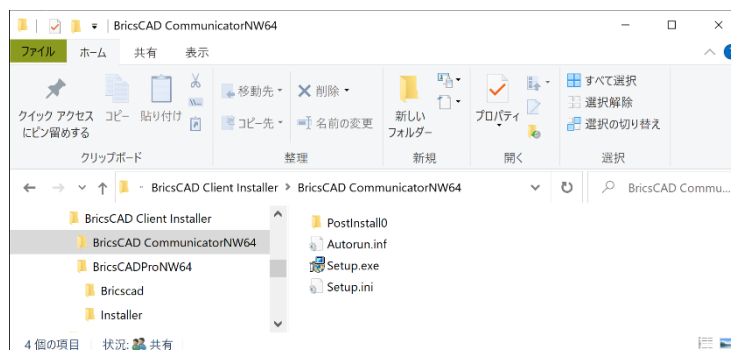
3. Communicator のインストールの実行

続いて、Communicator インストール作業例です。

BricsCAD のインストールが必須です。

- 1) Communicator のクライアントインストーラのフォルダを開きます。
- 2) Setup.exe をダブルクリックします。

(例:BricsCAD Communicator 64bit 版用のフォルダを開いた例です)

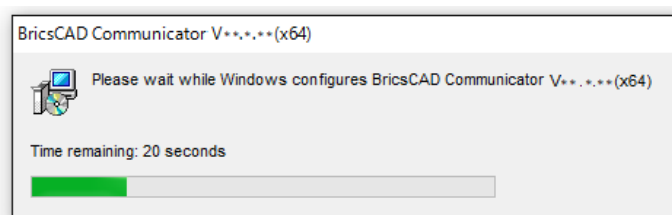
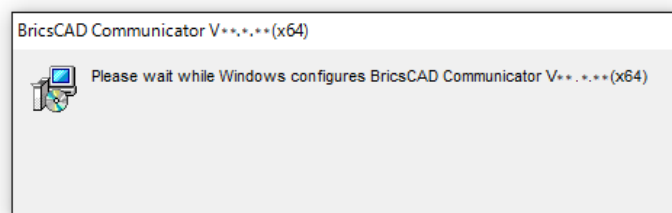


OS によってはユーザーアカウント制御のメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

(クライアントインストーラにある Setup.ini を初期設定でご使用の場合、インストールされているすべての Communicator をアンインストールしてからインストールします。)

3) メッセージが表示されます。

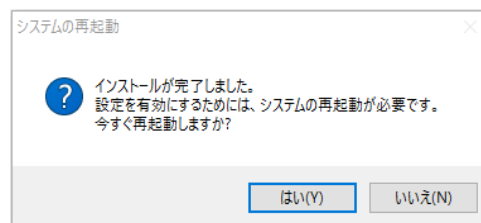
メッセージが消えたら、インストールの完了です。



これで、クライアント PC への Communicator インストール作業は終了です。

メッセージが消えたら、インストールの完了です。

環境によっては右のメッセージが表示されます。その場合は再起動を行ってください。



V. オプション

ネットワーク(Reprise)用のオプションである「ライセンスの借用」と「ライセンスモニタ機能」について説明します。

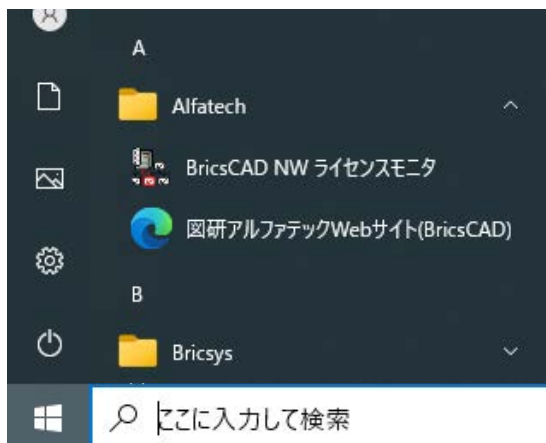
1. ライセンスモニタ(BricsCAD)

クライアントから登録グレードのライセンス情報(アプリケーション名)、バージョン、ライセンス数、使用数を確認することができます。

1. ライセンス情報の確認

- 1) [ライセンスモニタ] を選択します。

Windows11 の例:[スタート]-[A]-[Alfatech]-[BricsCAD NW ライセンスモニタ]



ライセンスモニタが表示します

グレードごとに表示します。



サーバーとの通信が正常に行われている場合、ライセンスサーバーの状態が表示されます。

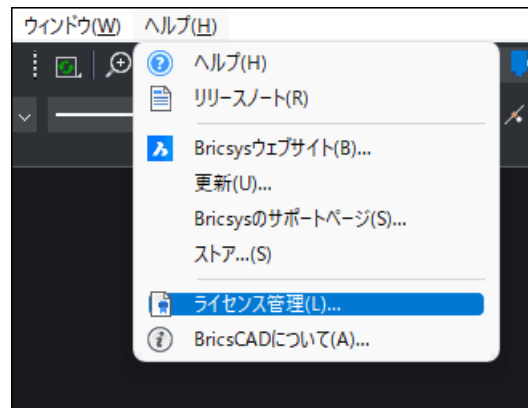
2. ライセンスの借用と返却(BricsCAD)

ライセンス借用は、ライセンスサーバーからネットワークライセンスを指定期間、借用する機能です。
借用期間はライセンスサーバーに繋がってなくても使うことができます。

1. ライセンス借用

- 1) BricsCAD を起動し、メニューの [ヘルプ]-[ライセンス管理]をクリックします。

「インターフェース設定」で「ツールバー」のレイアウトを選択することでメニューバー表示ができます。



- 2) 「Bricsys ライセンス管理」の[ライセンス管理]をクリックします。



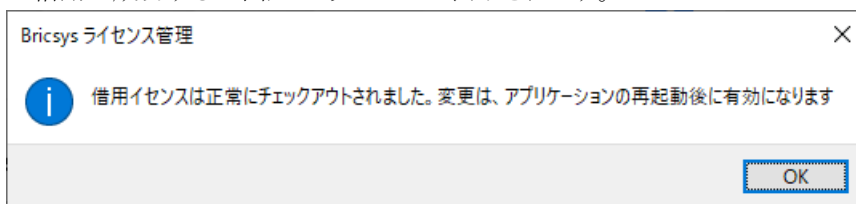
- 3) [借用]ボタンをクリックします。



- 4) 借用する日数(最大 30 日)を記入し、[チェックアウト]ボタンをクリックします。



- 5) ライセンス借用に成功すると下記のメッセージが表示されます。



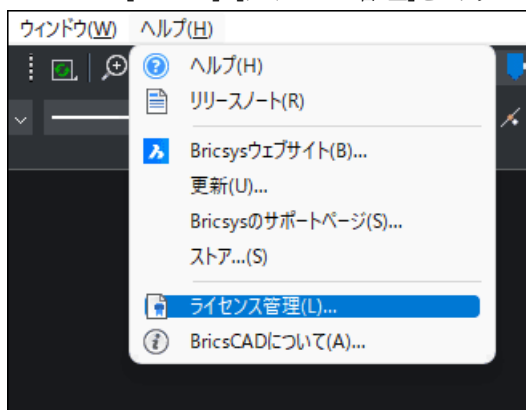
- 6) [OK]ボタンをクリックし、表示中のダイアログを閉じ、起動した BricsCAD も終了します。
次回から借用ライセンスで起動します。



- 7) ライセンスサーバーと同一ネットワーク上にある PC でライセンスモニタを起動すると、誰も BricsCAD を起動していなくても使用数に値が表示されることが確認できます。

2. ライセンス返却

- 1) BricsCAD を起動し、メニューの [ヘルプ]-[ライセンス管理]をクリックします。



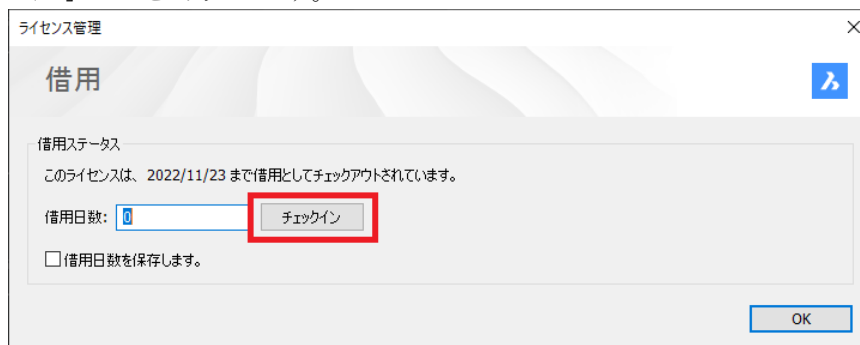
- 2) 「Bricsys ライセンス管理」の[ライセンス管理]をクリックします。



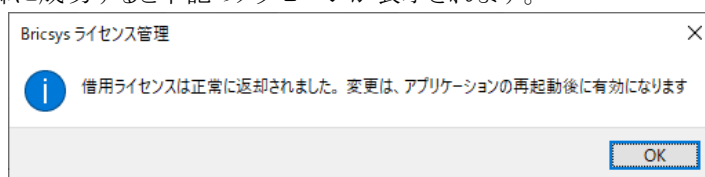
- 3) [借用]ボタンをクリックします。



- 4) [チェックイン]ボタンをクリックします。



- 5) ライセンス返却に成功すると下記のメッセージが表示されます。



[OK]ボタンをクリックし、表示中のダイアログを閉じ、起動した BricsCAD も終了します。
次回より再びサーバーからライセンスを取得して起動します。

VI. 付録

サーバー情報書き換えツールについても説明しています。

1. ツール

ライセンスサーバー作業でダウンロードした NWRLM_Package.zip の中のクライアントインストーラの作成用インストーラの中の MISC フォルダの中に、各種ツールが入っています。

1. ライセンスサーバー設定/グレード書き換えツール

BricsCAD のライセンスサーバーを変更した場合、クライアントのライセンスを取得するサーバーの情報を変更する必要があります。

本ツールでは、クライアントの接続先サーバー情報の変更を行う場合に使用します。

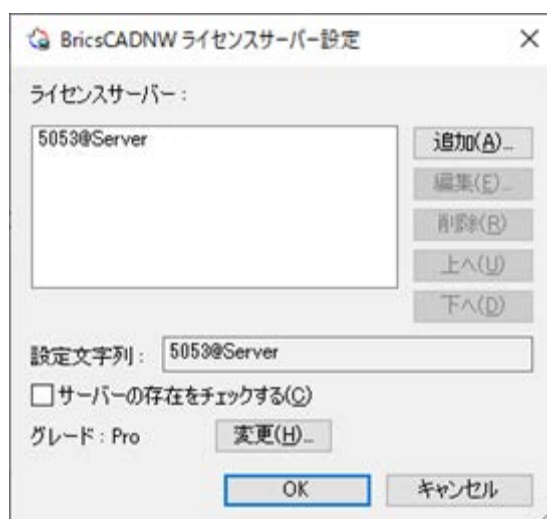
また、クライアントで使用する BricsCAD グレードを Pro から Lite などに変更することができます。

※変更したライセンスサーバーの情報で作成したクライアントインストーラで BricsCAD をインストールされたクライアント PC では、本ツールの使用は不要です。

下記の exe ファイルをクライアント PC に配布して利用してください。

BCADNWLICENSESETTING¥BCADNWLICENSESETTINGRLM.exe

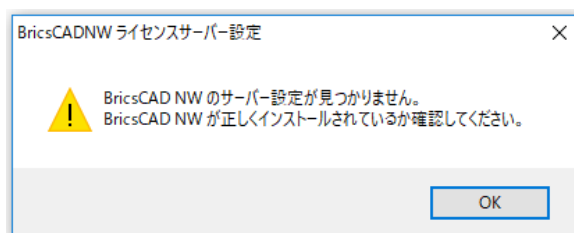
- 1) BCADNWLICENSESETTINGRLM.exe を「管理者として実行」します。
- 2) BricsCADNW ライセンスサーバー設定ダイアログが表示します。



(ご注意)

BricsCAD ネットワーク版を使用していない PC では本ツールは使用できません。

本ツールを実行された場合、下記のメッセージが表示されますので、[OK]をクリックして終了してください。



(ダイアログの説明)

[追加]:サーバー名を追加します。分散サーバーなど、複数のサーバーを指定する場合に使用します。

[編集]:既存のサーバー設定を変更します。

[削除]:既存のサーバー設定を削除します。

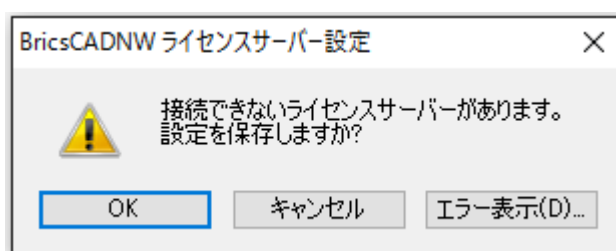
[上へ][下へ]:複数サーバーを設定されている場合に並び順を変更します。

上からの並び順でサーバーのライセンス取得順が決定します。

設定文字列:サーバーの設定状態が表示されます。

サーバーの存在をチェックする:[OK]をクリックしたときに設定されたサーバーへの接続確認を行います。

サーバーに接続されていない(ライセンスサーバーに接続できない)場合下記のメッセージが表示されます。

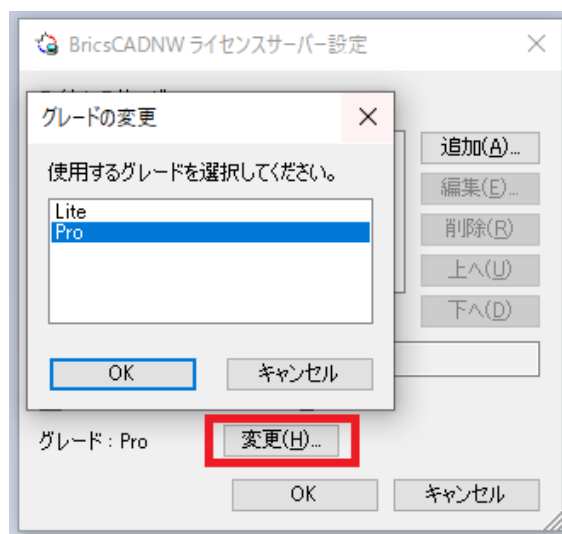


[OK]:サーバー設定を保存して終了します。

[キャンセル]:メッセージをキャンセルします。再度サーバーの編集を行ってください。

[エラー表示]:エラー内容を表示します。エラー内容を確認し、エラー解消をしてください。

グレード/[変更]:クライアント PC で使用する BricsCAD のグレードの変更を行います。



(ご注意)

インストール時に使用したクライアントインストーラのグレードが最上位で、それより下のグレードのみを表示し、変更することができます。

上位に変更したい場合は、上位グレードのクライアントインストーラを使ってインストールしてください。

「グレードの変更」に表示されるグレードの一覧は、ライセンスの有無に関係なく表示しています。

変更する場合、グレードのライセンスの有無を必ず確認してください。

ライセンスの有無は、ライセンスモニタで確認することができます。

2. Reprise オプション構文

Reprise オプションには、様々なオプション構文があります。よく使用されるものを抜粋しています。

1. オプションファイルキーワード

現在、本製品で使用できるキーワードは以下のとおりです。

オプション・キーワード	説明
INCLUDE	指定した対象にのみ、使用を許可する。
EXCLUDE	指定した対象に対し、使用を禁止する。
EXCLUDEALL_ROAM	指定した対象に対し、貸し出しを禁止する。
MAX	指定した対象に対し、ライセンス数の上限を設定する。
RESERVE	指定した対象に対し、ライセンスを予約する。
GROUP	ユーザーグループを定義する。
HOST_GROUP	PC グループを定義する。
TIMEOUT	クライアントが取得したまま、未使用状態が続いたときにライセンスを回収する時間を定義する。(秒単位)
ROAM_MAX_COUNT	最大借用可能ライセンス数を定義する
ROAM_MAX_DAYS	ライセンス借用の最大日数を指定する。

2. 製品ライセンスコード(フィーチャー名)

オプションファイルで製品ライセンスごとに指定する場合、製品のライセンスコード毎に指定します。

製品名	ライセンスコード
BricsCAD※	BRICSCAD
BricsCAD Communicator	COMMUNICATOR

※Reprise では BricsCAD は全てのグレードで同一のライセンスコードとなります。
したがって、グレードを指定してオプションを設定する場合は、グレード識別 ID 設定ツールで各ライセンスファイルに追記された ID を指定する必要があります。(参考: [p10. 「2. グレード識別 ID の設定」](#))

(ID 指定なしの記述例)※全ての BricsCAD ライセンスに対してオプションを適用

INCLUDE BRICSCAD HOST PC1

(ID 指定ありの記述例)※id=101 が指定されたライセンスに対してオプションを適用

INCLUDE BRICSCAD HOST PC1 id=101

3. 識別

識別する名前の種類をキーワードで定義します。以下のような種類があります。

識別	説明
USER	プログラムを実行しているユーザー名 (Windows のログイン名)
HOST	アプリケーションを実行しているクライアントのマシン名
GROUP	オプション行の中で定義したユーザーグループ名
HOST_GROUP	オプション行の中で定義したマシングループ名

※ "GROUP", "HOST_GROUP" は、対象が多いときに、グループ指定するために使用します。

4. ライセンスの返却(タイムアウト)

クライアント PC で BricsCAD を起動し、ライセンスを取得したまま使用していない場合でも、BricsCAD を終了しない限りライセンスはそのクライアント PC に保持されます。

タイムアウトオプションを設定すると、設定時間実行されない場合にはライセンスはサーバーに自動返却されます。

構文: TIMEOUT

書式: 構文 値 ライセンスコード

※値は秒単位で指定します。(3600 秒=1 時間)

ライセンスのタイムアウトを設定 例

TIMEOUT 3600 BRICSCAD

※最小値は 3600 です。

5. ライセンス使用の許可

ライセンス使用を許可するユーザーを設定します。

構文: INCLUDE

書式: 構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC1 と PC2)にのみ、BricsCAD のライセンス使用を許可する例

INCLUDE BRICSCAD HOST PC1

INCLUDE BRICSCAD HOST PC2

6. グループの定義記述例

Windows のログイン名、PC 名にてグループの定義が可能です。

対象の PC またはユーザー数が多い場合、グループを定義することが可能です。

構文: HOST_GROUP グループ名 クライアントホスト名(カンマ区切りで複数指定可能)

グループ A とグループ B を作成し、それぞれに INCLUDE(ライセンス使用許可)構文を設定した例

HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4

HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10

GROUP_A のみに BricsCAD(Pro:id=101) の使用を許可

INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_A id=101

GROUP_B のみに BricsCAD(Lite:id=1) の使用を許可

INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_B id=1

7. 最大使用ライセンス数の指定

最大使用ライセンス数を指定することができます。

構文: MAX

書式: 構文 ライセンスコード クライアントホスト名またはグループ名(カンマ区切りで複数指定可能)

グループを定義し、グループ名で指定した例

(グループ B には 6 台の PC を登録していますが、6 台中 5 台までの同時使用を制限した例)

HOST_GROUP GROUP_A PC1 PC2 PC3 PC4

HOST_GROUP GROUP_B PC5 PC6 PC7 PC8 PC9 PC10

INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_A

INCLUDE BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_B

MAX 5 BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_B

※ライセンス数が 9 の場合、A グループでは常にライセンスを確保することができます。

※A グループに対して「RESERVE」を使用してライセンス数を予約(確保)設定しても同じ効果となります。

最後の行を以下のように変更します。

RESERVE 4 BRICSCAD HOST_GROUP GROUP_A

常に 4 ライセンスは A グループにて予約(確保)されます。

8. ライセンス借用の制限と禁止

借用可能ライセンス数の最大値を設定します。

構文:ROAM_MAX_COUNT

書式:構文 値 ライセンスコード

製品(BricsCAD)ライセンス数 10 に対して 5 ライセンスの借用を制限する例

ROAM_MAX_COUNT 5 BRICSCAD

借用可能な日数の最大値を設定します。

構文:ROAM_MAX_DAYS

書式:構文 値 ライセンスコード

最大 1 週間=7 日間に借用期間を制限する例

ROAM_MAX_DAYS 7 BRICSCAD

ライセンスの借用を禁止するユーザーを設定します。

構文:EXCLUDEALL_ROAM

書式:構文 ライセンスコード HOST クライアントホスト名

指定した PC(PC3,PC4)のライセンス借用を禁止する例

EXCLUDEALL_ROAM BRICSCAD HOST PC3

EXCLUDEALL_ROAM BRICSCAD HOST PC4

※これらのオプションでライセンス借用に失敗した場合は、エラーコード-6 が表示される。



Failed to checkout the roaming license. The error message returned by the checkout procedure was:

要求されたバージョンのライセンスはありません。(エラーコード -6)

3. お問い合わせ

お問い合わせ先サイトについて説明します。

1. よくあるお問い合わせ-サイト

図研アルファテック社サイト(下記)にて Reprise に関するよくある質問、トラブル時のご対応などをご紹介します。

ご参照ください。

■よくあるお問い合わせ-ネットワークライセンス(Reprise)

<https://www.bj-soft.jp/faq/reprise>

Reprise ネットワークライセンス (BricsCAD V26 対応) ユーザーガイド
Alfatech BricsCAD NW 2026

2025 年 10 月 発行

発行者
図研アルファテック株式会社

<https://www.alfatech.jp/>
